オーディオ／ビジュアル

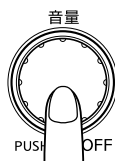
⚠注 意

安全のため走行中は地上デジタルテレビ画面は映りません。車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ、ご覧になることができます。

オーディオを操作する

オーディオの共通操作について説明しています。

オーディオをON/OFFする

HC509D-W **HC309D-W**

PUSH ON・OFF スイッチを押す。

押すたびにON、OFFを切り替えます。
オーディオをONにすると、画面にオーディオ情報が表示されます。

HC509D-A **HC309D-A**

⏻ スイッチを押す。

押すたびにON、OFFを切り替えます。
オーディオをONにすると、画面にオーディオ情報が表示されます。

■オーディオON画面

作動中のオーディオ情報が表示されます。

■オーディオOFF画面

Audio OFFが表示されます。

知識

地図画面上へのオーディオ情報の表示/非表示を設定できます。

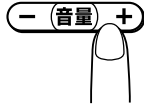
地図上オーディオ表示.................. D-72

音量を調整する

HC509D-W
HC309D-W

音量 スイッチを回す。

右に回すと音量が大きくなり、左に回すと小さくなります。

HC509D-A
HC309D-A

音量 スイッチを押す。

＋を押すと音量が大きくなり、−を押すと小さくなります。

知識

- ナビゲーションの音声ガイドが流れているときは、音量 スイッチを操作してもオーディオの音量は調整されず、ナビゲーションの音声ガイドの音量が調整されます。
- ナビゲーションの音声ガイド中は、音声ガイドを聞きとりやすくするために、オーディオの音量が一時的に小さくなります。

曲の早送り／早戻しをする

▶▶| スイッチを押し続ける。

早送りします。
指を離すと、再生を始めます。

|◀◀ スイッチを押し続ける。

早戻しします。
指を離すと、再生を始めます。

選曲する

■次の曲を聴く

▶▶| スイッチを短く押す。

押すごとに次の曲に変わります。

■前の曲を聴く

|◀◀ スイッチを短く押す。

押すごとに前の曲に戻ります。（曲を演奏中は2度押します。）

■曲を最初から聴く

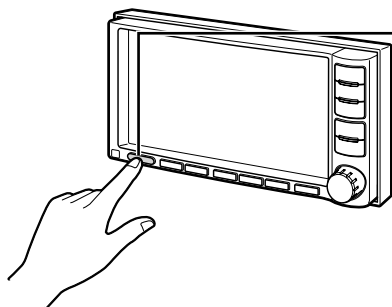
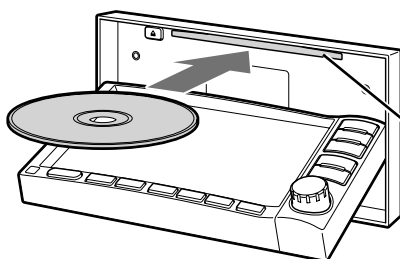
|◀◀ スイッチを短く押す。

聴いている途中で押すと、曲の最初に戻ります。

※再生開始から2秒以内に押したときは、1つ前の曲を再生します。

ディスクの入れかた／取り出しかた

※イラストには、HC509D-W HC309D-W を使用しています。

■ディスクを入れる

① OPEN/TILT スイッチを押す。

操作パネルが開きます。

② ディスクをDVD/CD挿入口に入れる。

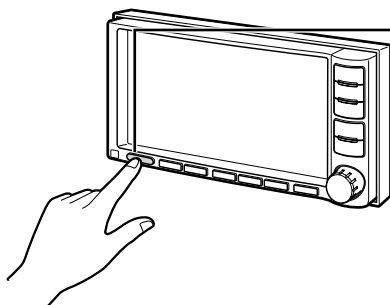
自動的に再生が始まります。

③ OPEN/TILT スイッチを押して、操作パネルを閉じる。

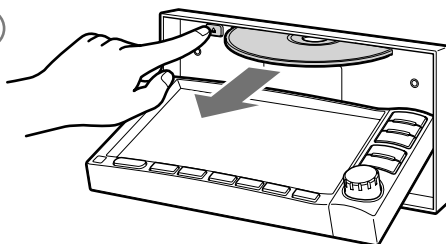
知識

ディスクはレーベル面を上にして挿入してください。

■ディスクを取り出す

①

OPEN/TILT スイッチを押す。

操作パネルが開きます。

②

▲スイッチを押す。

ディスクがイジェクトされます。

- イジェクトされたディスクをそのままにしておいた場合、しばらくするとオートリロード機能が働きディスクが再び引き込まれ、再生を再開します。

知識

オートリロード機能について

イジェクトされたディスクをそのままにしておいた場合に、安全のため再びディスクをDVD/CD挿入口に引き込む機能です。

③ OPEN/TILT スイッチを押して、操作パネルを閉じる。

■再生できるディスクについて

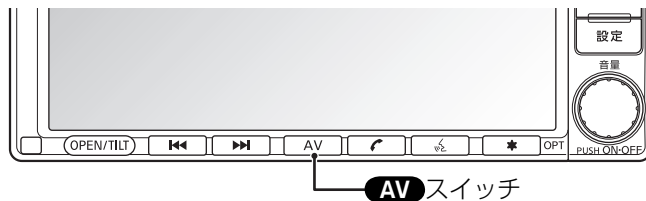
- 音楽CD

マーク	仕様		再生時間／容量
COMPACT disc DIGITAL AUDIO	12cm	音声	約74分

- DVDディスクについては、「再生できるディスクについて」G-122ページをご覧ください。

HC509D-W **HC309D-W** と **HC509D-A** **HC309D-A** とでは、
各オーディオモードの操作画面を表示させるまでの手順が異なります。

オーディオモード（ソース）を切り替える

HC509D-W

HC509D-A

① **AV スイッチを押す。**

AVメニューが表示されます。
すべてのオーディオメニューの操作をこの画面から始めます。

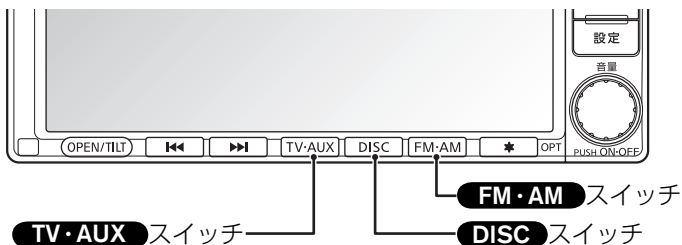
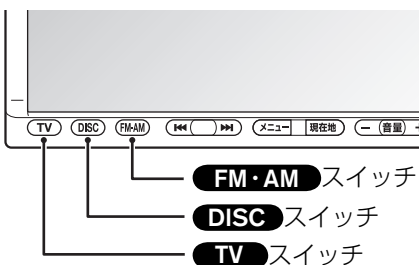
② **オーディオモード（ソース）にタッチする。**

例）DISCがセットされているときに **CD/DVD** を選ぶ。

CDの操作画面が表示されます。

オーディオモードのときにDISCを挿入した場合は、自動的に再生画面が表示されます。

オーディオモード（ソース）を切り替える

HC309D-W

HC309D-A

■TV・AUX（TV）スイッチ

① TV・AUX（TV）スイッチを押す。

テレビまたはAUX（外部機器）操作画面が表示されます。

② TV・AUX（TV）スイッチを押すごとにモード（ソース）が切り替わる。

→ TV1 → TV2 → AUX ─┐（AUXからTV1に戻る）

■DISCスイッチ

① DISC スイッチを押す。

オーディオ操作画面が表示されます。

② DISC スイッチを押すごとに、オーディオモード（ソース）が切り替わる。

→ iPod/USB → CD/DVD → ミュージックボックス

■FM・AMスイッチ

① FM・AM スイッチを押す。

FMまたはAM操作画面が表示されます。

② FM・AM スイッチを押すごとに、モード（ソース）が切り替わる。

→ FM1 → FM2 → AM

オーディオの設定をする

HC509D-W **HC309D-W**

① 設定 スイッチを押す。

HC509D-A **HC309D-A**

① メニュー スイッチを押して、設定 にタッチする。

② オーディオ にタッチする。

③ 設定したい項目を選ぶ。

☆以下の設定をすることができます。

●音質（BASS ／ TREBLE ／ BALANCE ／ FADER）を調整する

BASS	－ または ＋ にタッチして、低音を調整します。
TREBLE	－ または ＋ にタッチして、高音を調整します。
BALANCE	L または R にタッチして、左右の音量バランスを調整します。
FADER	R または F にタッチして、前後の音量バランスを調整します。

●SRS CS Auto™を設定する

SRS CS Auto	オフ と シネマ 、ミュージック のモードが選択できます。

SRS(●) CS Auto

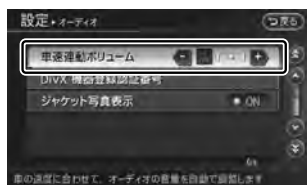
- SRS(●) CS Auto は、SRS Labs. Inc.の商標です。
- CS Auto技術は、SRS Labs. Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。
- SRS CS Auto™とは
  …Circle Surroundデコーダによる車載用に特化したサラウンドシステムです。センタースピーカーやサブウーファーを使用せずに、4スピーカーのままでも5.1chサラウンドに相当する音場を再現できます。
  ただし、リヤスピーカーを接続している場合（4ch、4.1ch）のみ有効です。

そのほかの設定

車速連動ボリューム	車速に連動して音量を自動調整する感度を設定します。
DivX機器登録認証番号 HC509D-W HC509D-A	DivXの有料ファイルなどのダウンロードサービスを利用する際に必要な機器の登録コードを確認します。 DivX機器の登録方法........L-23 ※DivX機器登録の設定は、USBメモリが接続されていたり、ディスクが入っていると行えません。
ジャケット写真表示	ジャケット写真がついている楽曲のジャケット写真表示をON/OFFすることができます。

知識

車速連動ボリュームとは

車の速度とともに大きくなる騒音で音楽がかき消されないように音量を自動調整する機能です。効果幅をOFF（0）～5（効果大）の範囲で設定できます。初期設定はOFFになっています。

FM･AM

FM・AMを聴く

ラジオをONにして、操作画面を表示します。

1 **HC509D-W** **HC509D-A**

AV スイッチを押し、AVメニューを表示させる。
FM1、FM2 または AM にタッチする。

HC309D-W **HC309D-A**

FM・AM スイッチを押す。

押すごとに、FM1→FM2→AMと切り替わります。

2 **ラジオがONになり、ラジオ操作画面が表示される。**

オーディオ／ビジュアル

☆ラジオのオーディオモードは、プリセットの種類に応じて、以下のように切り替わります。

プリセットリスト	モード（ソース）	登録局数
手動登録（マニュアルプリセット）	AM	6局
	FM1	
	FM2	
自動登録（オートプリセット）	AM AUTO.P	6局
	FM AUTO.P	

手動で登録する（マニュアルプリセット）........G-13
自動で登録する（オートプリセット）........G-14

知識

ラジオの受信は、車両の移動に伴う電波の変動、障害物や電車、信号機などの影響により、最良な受信状態を維持できないことがあります。

操作画面の見かた

■ラジオ操作画面

①現在のオーディオモード

FM1、FM2、AM、FM AUTO.P、AM AUTO.Pのいずれかが表示されます。

②現在の放送局名

現在受信中の放送局名が表示されます。

③現在の周波数

現在受信中の周波数が表示されます。

④オートプリセット

現在地付近で電波の強い放送局を6局まで自動登録します。
プリセットリスト切替の設定で、AM（AUTO.Pモード）またはFM（AUTO.Pモード）を選ぶと表示されます。

プリセットリストを切り替える G-15

⑤メニュー

設定画面が表示されます。

⑥プリセットリスト

放送局名または周波数が表示されます。

登録済みの放送局から選ぶ G-13

⑦リスト送りキー

プリセットリストを1つずつ送ります。

放送局を選ぶ

■自動で選ぶ

[⏮]または[⏭]スイッチを押し続ける。

自動選局モードになり、放送を受信すると選局を止めます。

■手動で選ぶ

[⏮]または[⏭]スイッチを押して、聞きたい放送局を探す。

押すごとに、周波数が変わります。

■登録済みの放送局から選ぶ（プリセットリスト選局）

あらかじめ登録された放送局をリストから選局します。

1.

プリセットリストから、聞きたい放送局にタッチする。

放送局が複数ある場合は、[重複]と表示されます。その場合は、その放送局名にタッチすると表示する放送局名を切り替えることができます。

放送局を登録する

■手動で登録する（マニュアルプリセット）

プリセットリストに放送局を手動で登録します。FM1、FM2、AMそれぞれに6局まで登録できます。

1. **登録したい放送局を受信する。**

2.

登録したいプリセットリストにタッチし続ける。

登録されると、「ピッ」という音がします。

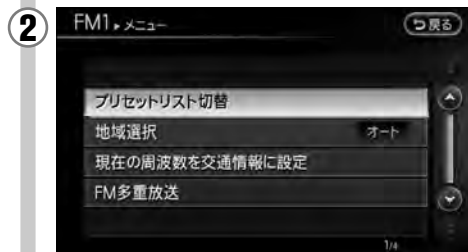
■自動で登録する(オートプリセット)

FMまたはAMのオートプリセット（放送局の自動登録）を行うには、操作画面に［オートプリセット］を表示させます。

1. G-12ページ操作画面の［メニュー］にタッチする。

2.

［プリセットリスト切替］にタッチする。

3.

［AM（AUTO.Pモード）］または［FM（AUTO.Pモード）］にタッチする。

4.

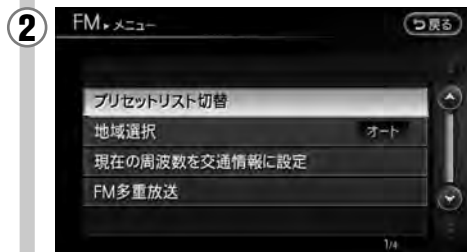
［オートプリセット］にタッチする。
受信した放送局がプリセットリストに自動登録されます。

受信状態が悪くプリセットリストのすべてに登録できない場合は、空いたプリセットリストにオートプリセットする前の放送局が残ります。

プリセットリストを切り替える

メニューからBANDを切り替えることができます。

1. G-12ページ操作画面の メニュー にタッチする。

2.

   プリセットリスト切替 にタッチする。

3.

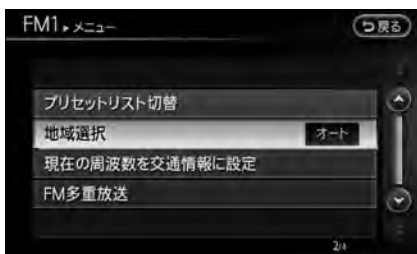
   聞きたい放送局のBANDを選ぶ。

AM（AUTO.Pモード）	AM局のプリセットリストを表示します。（自動登録）
FM（AUTO.Pモード）	FM局のプリセットリストを表示します。（自動登録）

放送局名の地域を選ぶ

表示する放送局名の地域を手動で選ぶことができます。

1. G-12ページ操作画面の メニュー にタッチする。

2. 地域選択 にタッチする

3. 表示する放送局名の地域を選ぶ。

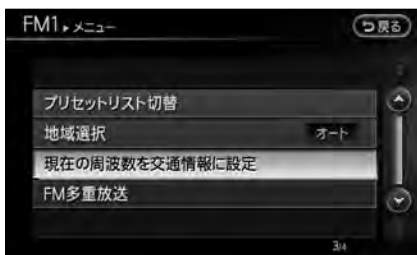
オート ：設定（点灯）にすると自動で地域を選びます。

地域名 ：選んだ地域の放送局名を表示します。

交通情報を聞く放送局を設定する

現在聞いている放送局を交通情報として設定します。

1. G-12ページ操作画面の メニュー にタッチする。

2. 現在の周波数を交通情報に設定 にタッチする。

HC509D-W HC509D-A

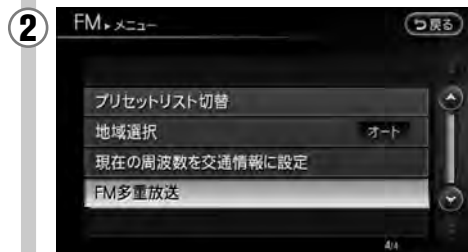
現在の周波数がAVメニューの 交通情報 に設定され、タッチすると交通情報を聞くことができます。

HC309D-W HC309D-A

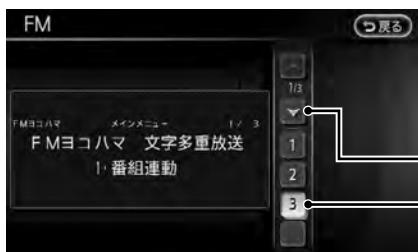
現在の周波数が交通情報に設定され、交通情報を聞くことができます。

FM多重放送（一般放送）

FM放送局の文字放送を受信して、交通情報やニュースなどの情報を見ることができます。

① **G-12ページ操作画面の［メニュー］にタッチする。**

②
［FM多重放送］にタッチする。

メニュー画面が表示されます。

③ ■メニュー画面

見たい番組情報を選ぶ。

ここでは、番組番号［3］天気予報を選びます。

番組番号送り

番組番号

■情報画面

情報画面が表示されます。

メニュー画面に戻ることができます。

ページ送り

［番組番号］：選択すると番組の情報を表示します。
（番組選択できる場合、番組一覧が表示されます。番組一覧は複数ページにわたる場合もあります。）

［▲］：情報が２ページ以上あるとき、前のページを表示します。

［▼］：情報が２ページ以上あるとき、次のページを表示します。

知識

■ FM多重一般放送について

受信状態によって、以下のようなメッセージが表示されます。

- ［しばらくお待ちください］と表示されたときは、現在受信中の放送局がFM多重放送を送信しているか確認しています。
- ［FM多重情報が受信できません］と表示されたときは、現在受信中の放送局がFM多重情報を送信していないか、受信状態が悪い状態です。
- ［FM多重情報を受信中です］と表示されたときは、FM多重情報を取得できています。
- いったんFM多重一般放送を受信すると、**VICS**のFM多重放送を表示するまで時間がかかることがあります。

交通情報

交通情報として登録された放送局を受信します。（初期値はAM放送の1620KHzが登録されています。）

HC509D-W **HC509D-A**

① **AV** **スイッチを押す。**

AVメニューが表示されます。

② **交通情報** **にタッチする。**

交通情報を受信します。

■他の放送局を登録する

交通情報 に他の放送局を登録することができます。

交通情報を聞く放送局を設定する..........G-16

HC309D-W HC309D-A

1 FM・AM スイッチを押して、AM放送を受信する。

2

交通情報 にタッチする。

交通情報を受信します。

■他の放送局を登録する

他の放送局を交通情報を聞く局として登録することができます。

交通情報を聞く放送局を設定する..........G-16

交通情報 がプリセットリストにない場合は、⏮または⏭を押して、交通情報（1620kHzまたは1629kHz）を受信してください。

CD（MP3/WMA/AAC）

CDを聴く

本機にディスクを入れると自動的に再生が始まります。
「ディスクの入れかた／取り出しかた」は、G-4ページをご覧ください。

1 操作パネルを開き、CDをDVD/CD挿入口に入れる。

自動的に再生が始まります。

知識

- CDはレーベル面を上にして挿入してください。
- マルチセッションで書き込んだCDやMP3/WMA/AACディスクは再生開始までに時間がかかる場合があります。（セカンドセッションの音楽ファイルは再生できません。）

すでに入っているCDを聴く

■操作画面を表示させる

すでに本機に入っているCDを聴く場合は、CD操作画面を表示させます。

1 HC509D-W HC509D-A

AV スイッチを押し、AVメニューを表示させる。
CD/DVD にタッチする。

HC309D-W HC309D-A

DISC スイッチを押す。

押すごとに、オーディオモード（ソース）が切り替わります。
CD画面が表示されるまで、押してください。

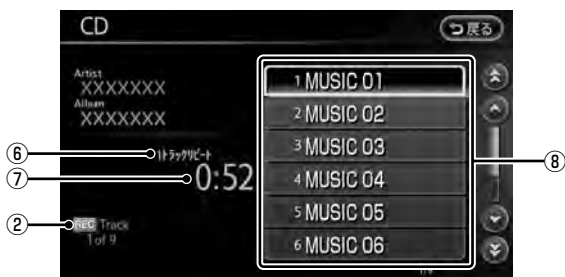
2

操作画面が表示される。

操作画面の見かた

＜ CD 操作画面＞

●曲情報画面

●トラック選択画面

① 曲情報
アーティスト名／アルバム名／トラック名
テキスト情報が記録されている曲またはGracenoteデータベースで検索された曲を再生しているときに表示されます。

② 録音曲数
CDの録音中に表示します。

③ 全曲録音／録音停止
CDの全曲録音の開始、または録音中に録音停止をします。

④ メニュー
プレイモードの選択やCD録音の設定などをします。

⑤ リスト表示
トラック選択画面を表示します。

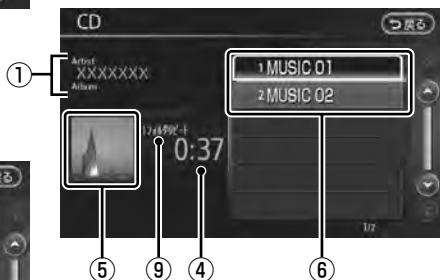
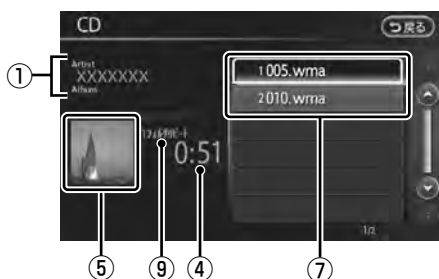
⑥ プレイモード
プレイモードを表示します。（全リピートのときは表示されません。）

⑦ 再生時間
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

⑧ トラックリスト
トラックリストを表示します。

＜ MP3/WMA/AAC 操作画面＞

●曲情報画面

●フォルダ選択画面

●ファイル選択画面

①曲情報
アーティスト名／アルバム名／トラック名が表示されます。
（テキスト情報が記録されている曲を再生しているときに表示されます。）

②メニュー
プレイモードの選択をします。

③リスト表示
フォルダ選択画面またはファイル選択画面を表示します。

④再生時間
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

⑤ジャケット写真表示
ジャケット写真がある場合、表示されます。表示させるには、 ジャケット写真表示 を ON （点灯）にします。

ジャケット写真表示...... G-10

⑥フォルダリスト
＜フォルダ選択画面＞
フォルダのリストを表示します。 リスト表示 にタッチして表示されます。

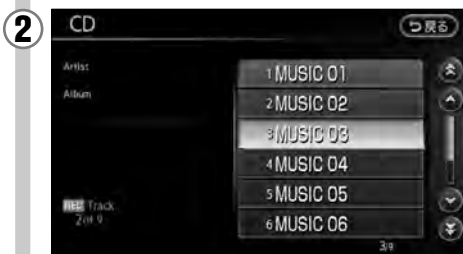
⑦トラックリスト
＜ファイル選択画面＞
ファイルのリストを表示します。フォルダリストを選択して表示されます。またはフォルダが1つの場合、 リスト表示 にタッチして表示されます。

⑧MP3（WMA/AAC）
再生中のファイルフォーマットが表示されます。

⑨プレイモード
プレイモードを表示します。（全リピートのときは表示されません。）

CD 操作画面のリストから選曲をする

（※操作画面が表示されていない場合は、表示させてください）

①
G-21ページ曲情報画面の リスト表示 にタッチする。

②
リストから聞きたい曲にタッチする。

知識

戻る にタッチすると、曲情報画面に戻ります。

MP3/WMA/AAC 操作画面のフォルダから選曲する

MP3/WMA/AACで記録されているディスクの場合、リストにフォルダが表示されます。（フォルダが1つしかないディスクの場合、フォルダ選択画面は表示されません。）

1

G-22ページ曲情報画面の リスト表示 にタッチする。

フォルダ選択画面になります。

2

聞きたいフォルダにタッチする。

再度そのフォルダにタッチすると、ファイル選択画面になります。

知識

戻る にタッチすると、曲情報画面に戻ります。

3

リストから聞きたい曲にタッチする。

知識

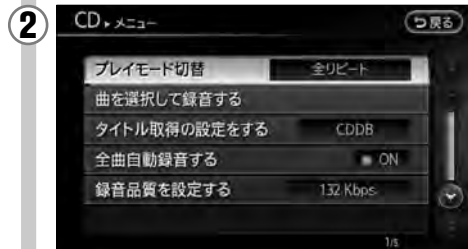
ファイル選択画面で 戻る にタッチすると、フォルダ選択画面に戻ります。

プレイモードを切り替える

いろいろなプレイモードでCDを聴くことができます。

1 曲情報画面の メニュー にタッチする。

メニュー画面が表示されます。

2

プレイモード切替 にタッチする。

3

設定したいプレイモードにタッチする。

● CDの場合

全リピート	1枚のCDの全曲を繰り返し再生します。
1トラックリピート	1曲リピート。同じ曲を繰り返し再生します。
1ディスクランダム	1枚のCDの全曲を自動的に順番を変えて再生します。

● MP3/WMA/AACの場合

全リピート	1枚のディスクの全曲を繰り返し再生します。
1 フォルダリピート	1つのフォルダの全曲を繰り返し再生します。
1トラックリピート	1曲リピート。同じ曲を繰り返し再生します。
1ディスクランダム	1枚のディスクの全曲を自動的に順番を変えて再生します。
1 フォルダランダム	1つのフォルダの全曲を自動的に順番を変えて再生します。

CD録音の設定をする

録音方法や録音品質の設定をすることができます。

ご注意

- MP3/WMA/AAC形式で音楽ファイルを保存したディスクは、HDDに録音することができません。
- ギャップレスCDは曲間の音が途切れて録音されることがあります。

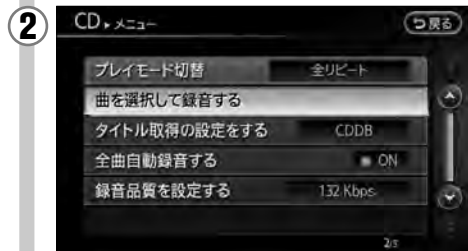
■曲を選択して録音する

1 **曲情報画面の メニュー にタッチする。**

メニュー画面が表示されます。

2

曲を選択して録音する にタッチする。

3

リストから録音したい曲を選択し、録音開始 にタッチする。

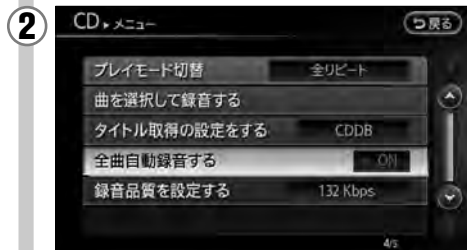
録音を開始して、曲情報画面に戻ります。

すべて選択／解除：
リストにある曲をすべて選択することができます。また、選択を解除することができます。

■全曲自動録音する

1 曲情報画面の メニュー にタッチする。

メニュー画面が表示されます。

2

全曲自動録音する にタッチする。

● ON が点灯し、CDを挿入するとすべての曲を自動録音します。

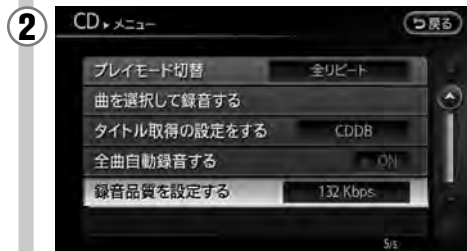
■録音品質の設定をする

1 曲情報画面の メニュー にタッチする。

メニュー画面が表示されます。

2

録音品質を設定する にタッチする。

3

録音品質を選んでタッチする。

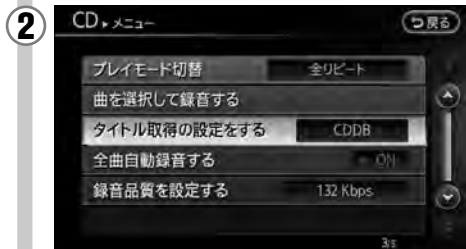
曲数を優先する（105kbps）	音質を標準にして曲数を多く録音します。
音質を優先する（132kbps）	曲数を少なくして音質を良く録音します。

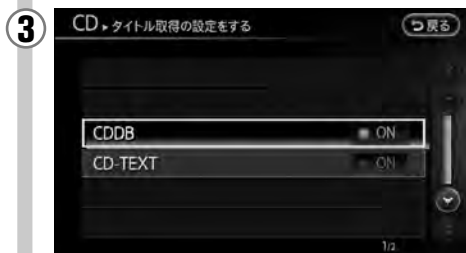
タイトル取得の優先設定をする

録音の際に付加するタイトル情報およびCD画面で表示するタイトル情報をGracenoteデータベースから取得するか、CDに記録されているテキスト情報から取得するかを設定します。

1 **曲情報画面の メニュー にタッチする。**

メニュー画面が表示されます。

2

タイトル取得の設定をする にタッチする。

3

優先取得したい方法にタッチする。

CDDB	Gracenoteデータベースで検索された曲のタイトルを優先取得します。
CD-TEXT	テキストで記録された曲のタイトルを優先取得します。

タイトル情報がGracenoteまたはテキスト情報の片方しかない場合は、設定に関わらず存在するタイトル情報を取得します。

MP3/WMA/AACについて

■MP3とは？

国際標準化団体であるISOとIECの共同活動機関、MPEGが定めた圧縮規格です。正式には「MPEG AUDIO Layer3」と言って、高い圧縮率を誇る音楽ファイルフォーマットです。人の耳には聞き取れないような情報を省略することにより、高圧縮化を実現します。CDの約1/10のデータにまで圧縮しても、デジタルならではの高音質を得ることができます（サンプリング周波数44.1kHz、ビットレート128kbpsの場合）。

■WMAとは？

正式には「Windows Media Audio」と言い、音声データを圧縮する方式です。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率（約半分）で音楽ファイルを作成・保存することができます。

※ Windows®、Windows Media®は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

■AACとは？

正式には「Advanced Audio Coding」と言い、音声データを圧縮する方式です。AACは音声データをMP3よりも高い圧縮率で音楽ファイルを作成・保存することができます。また、MP3と同等の高音質を得ることができます。（サンプリング周波数は、96kHzまでをサポートします。）

■MP3/WMA/AACディスクを作成する方法

パソコンのMP3/WMA/AAC専用ソフトや対応オーディオ機器を使って作成します。詳しくは専用ソフト・機器の説明書を参照してください。

アドバイス

MP3/WMA/AACファイルの作成ソフトやテキスト情報編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。
（セッションクローズ、ディスククローズ（ファイナライズ）処理を行っていないディスクも再生できない場合があります。）

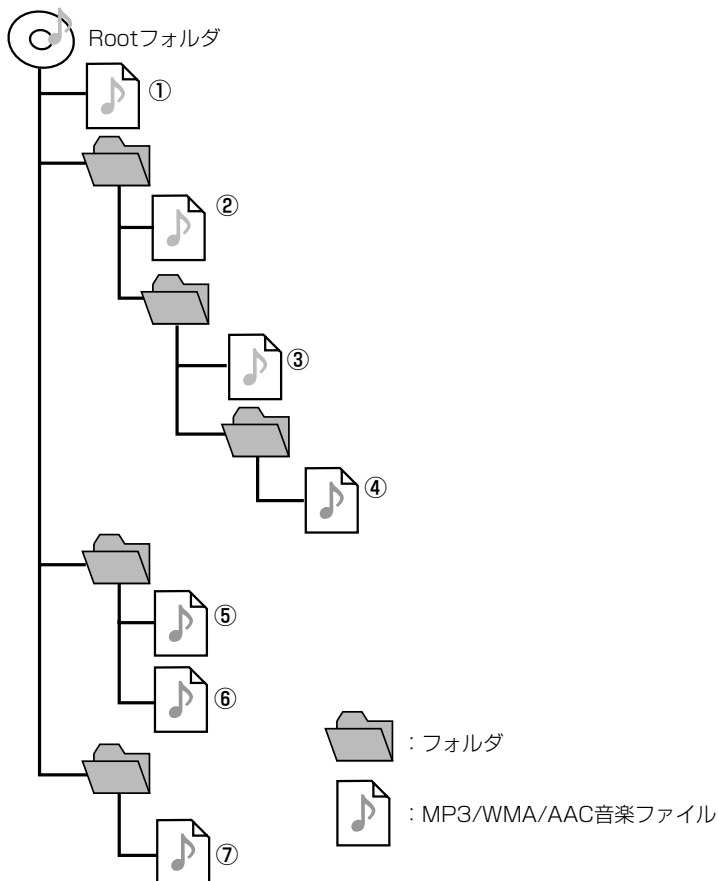
知識

本機ではMP3/WMA/AACディスクを作成できません。また、本機で再生可能なMP3/WMA/AACファイルは、拡張子が“.mp3”、“.wma”、“.m4a”です。詳細は次の表を参照してください。また記載以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。MP3/WMA/AACファイルを用意し、CD-Rライティングソフトを利用して、CD-R・CD-RWなどのメディアに書き込みます。

MP3/WMA/AACの仕様

再生可能なサンプリング周波数	MP3 ：8 ～ 48kHz、WMA：32 ～ 48kHz AAC ：8 ～ 96kHz
ビットレート	MP3 ：8kbps ～ 320kbps/VBR WMA：32kbps ～ 192kbps/VBR（Ver.9） AAC ：16kbps ～ 320kbps/VBR
表示可能なID3/WMAタグ	Song Title、Artist Name、Album Title ※MP3のID3タグはVer1.0、Ver1.1、Ver2.2、Ver 2.3、Ver2.4に対応しています。
対応ファイルシステム	ISO9660 LEVEL1、ISO9660 LEVEL2 ※ISO9660 LEVEL3（パケットライト）には対応しておりません。 UDFブリッジ（UDF1.02＋ISO9660） UDF1.5、UDF2.0 ※VDF1.5/VDF2.0のパケットライトには対応しておりません。
対応メディア	CD-R、CD-RW、CD-ROM、DVD±R、DVD±RW、DVD±R DL、DVD-ROM
フォルダ階層	フォルダ階層：8 フォルダ　：255（ルートフォルダ含む） ファイル　：5000
ファイル名文字制限	半角英数･半角カタカナ128文字、全角英数字64文字（拡張子含む）
表示可能文字コード	01：ASCII 02：ISO-8859-1 03：UNICODE（UTF-16 BOM Big Endian） 04：UNICODE（UTF-16 Non-BOM Big Endian） 05：UNICODE（UTF-8） 06：UNICODE（UTF-16 Non-BOM Big Little Endian） 07：SHIFT-JIS

再生順序について

MP3/WMA/AAC音楽ファイルの再生順序は以下のようになります。

演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。

※MP3/WMA/AAC音楽ファイルを含まないフォルダは画面上のリストに表示されません。

※ディスク最上位の階層にMP3/WMA/AAC音楽ファイルがある場合は、Rootフォルダとして画面上のリストに表示されます。

CDDBについて

音楽CDを再生または録音すると、HDD内に収録されているデータベースから以下の項目を自動的に検索し、表示します。また、HDDに情報がない場合は、携帯電話またはUSBメモリを用いてインターネットのGracenoteデータベースから情報を取得することができます。

＊アルバム名

＊アーティスト名

＊曲名

＊ジャンル

HDDに収録されているデータベースは、Gracenoteデータベースを使用しています。

知識

- 新作CDなど、HDDのデータベースに情報がない場合は、曲、アルバム名などが表示されません。その場合は、携帯電話またはUSBメモリを用いてインターネットのGracenoteデータベースから取得することができます。
  CD録音時にタイトルを自動取得する G-72
  USBメモリから取得する.............. G-64
- 携帯電話からタイトル情報を取得するには、通信料金がかかります。また、お使いのプロバイダ利用料金が請求される場合があります。詳しくは、各通信事業者へご確認ください。
- au WINをケーブル接続でご使用の場合には、機種によってUSB接続設定がありますので「データ転送モード」または「Packet WINモデムモード」に設定してください。（設定方法はお使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。）
- 情報のデータ量や電波状況によっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。
- 情報の取得が終了すると、電話回線は自動的に切断されます。
- 携帯電話にはご利用できない機種があります。詳しくは日産販売会社（ディーラー）またはカーウイングスお客さまセンターにお問い合わせください。

Gracenote音楽認識サービスについて

音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenoteにより提供されます。
Gracenoteは、音楽認識テクノロジー及び関連コンテンツ配信の業界標準です。
詳細については、下記のWebサイトをご覧ください。
http://www.gracenote.com

この製品及びサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります：＃5,987,525、＃6,061,680、＃6,154,773、＃6,161,132、＃6,230,192、＃6,230,207、＃6,240,459、＃6,330,593、及びその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許（＃6,304,523）用にOpen Globe, Inc.から提供されました。

Gracenote及びCDDBはGracenoteの登録商標です。Gracenoteのロゴとロゴタイプ、及び「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。Gracenoteサービスの使用については、下記のWebサイトをご覧ください 。
http://www.gracenote.com/company_info/

Bluetooth® オーディオ<オプション>

HC509D-W HC509D-A

Bluetooth® 通信機能を備えたオーディオ機器や携帯電話を本機にワイヤレスで接続し、音楽を聴くことができます。

Bluetooth® オーディオについて

- Bluetooth® オーディオ機器は、機種によりご利用できないものがあります。ご利用いただけるBluetooth® オーディオ機器については日産販売会社（ディーラー）またはお客様相談室へお問い合わせください。
- Bluetooth® オーディオを使用するには、オーディオ機器の初期登録を行う必要があります。

Bluetooth® オーディオ機器を初期登録する G-35

- Bluetooth® オーディオは接続するオーディオ機器によっては動作が異なる場合があります。ご利用になる前に操作方法の確認を行ってください。
- 以下のときはBluetooth® オーディオの再生は一時停止します。下記動作が終了すると、Bluetooth® オーディオの再生を再開します。
  - — カーウイングスによるデータダウンロード中(手動または自動)
  - — 交通情報の受信中
  - — ハンズフリー通話中
  - — 携帯電話の接続確認中
- Bluetooth® 通信用の車両側アンテナは、本機に内蔵されていますので、Bluetooth® オーディオ機器を金属に覆われた場所や本機から離れた場所においたり、シートや身体の間に密着させた状態では音が悪くなったり接続できない場合があります。
- Bluetooth® 接続を行うと、通常よりBluetooth® オーディオ機器の電池の消耗が早くなります。
- 本機は、Bluetooth®AV プロファイル（A2DP、AVRCP）に対応しています。

Bluetooth®

Bluetooth® オーディオ機器を初期登録する

Bluetooth® オーディオを聴くには、Bluetooth® オーディオ機器を本機に登録する必要があります。

アドバイス

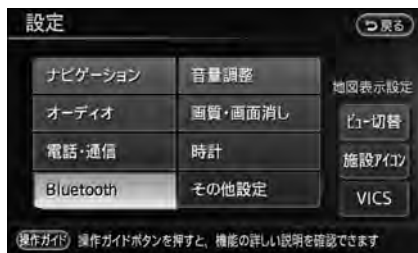
車内に別のBluetooth® オーディオ機器がある場合は、電源をOFFにしてください。

HC509D-W

1 設定 スイッチを押す。

HC509D-A

1 メニュー スイッチを押して、設定 にタッチする。

2

Bluetooth にタッチする。

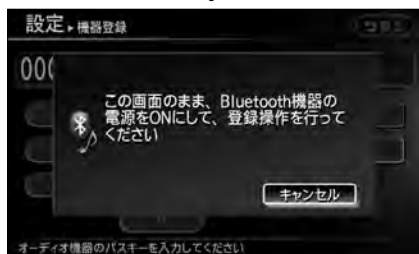
3

機器登録 にタッチする。

4

メッセージを確認し、いいえ にタッチする。

パスキー入力画面が表示されます。

5

Bluetooth®オーディオ機器のパスキーを入力し、決定にタッチする。

Bluetooth®オーディオ機器が登録されます。

■登録操作について

Bluetooth®オーディオ機器で登録操作を行ってください。操作方法は、Bluetooth®オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
画面に表示されているパスキーと登録機器のパスキーが異なる場合は、キャンセルを選び、パスキーの変更を行ってください。
Bluetooth®オーディオ機能のある携帯電話を登録する場合は、メッセージが表示されたら携帯電話を操作して接続を行ってください。携帯電話の接続操作は、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
Bluetooth®オーディオ機器の登録が終了するとメッセージが表示されます。

- パスキーとは、Bluetooth®オーディオ機器を本機に登録するためのパスワードです。登録機器のパスキーについては、Bluetooth®オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth®オーディオ機器は、Bluetooth®携帯電話と合わせて5台まで登録することができます。すでに5台まで登録してある場合は、登録されているBluetooth®オーディオ機器を1台消去してから登録してください。

オーディオ機器の登録を消去する.............G-42

- ハンズフリーフォンとして登録された携帯電話のオーディオを使用する場合、携帯電話で使用するサービスを選択する必要があります。詳しくは携帯電話の操作手順書を参照ください。
- Bluetooth®オーディオ機器を登録すると、自動的に接続するBluetooth®オーディオ機器に設定されます。
別の登録機器を使用したい場合は、オーディオ機器の選択を行ってください。

接続するオーディオ機器を切り替える......G-40

Bluetooth®オーディオを聴く

1 **AV** スイッチを押し、AVメニューを表示させる。

2 **Bluetooth Audio** にタッチする。

Bluetooth® 操作画面が表示されます。

操作画面の見かた

① 曲情報

アーティスト名／アルバム名／曲名が表示されます。

※ Bluetooth®オーディオのAVRCPバージョンにより、曲情報の表示が異なります。

② メニュー

プレイモードを選ぶことができます。

※ プレイモード切替非対応のBluetooth®オーディオでは、は使えません。

③ 再生

曲を再生します。

④ 一時停止

再生を一時停止します。

⑤ プレイモード

プレイモードを表示します。

⑥ 再生時間

曲が始まってから現在までの時間を表示します。

知識

接続するBluetooth® 機器によっては、①曲情報、②メニュー、⑥再生時間が表示されません。
その場合は、その旨を知らせるメッセージが表示されます。

■Bluetooth®オーディオ再生時の注意事項

⚠注 意

安全のためBluetooth®オーディオ機器の操作は必ず停車中に行ってください。

- オーディオ機器として登録、選択されていないBluetooth®オーディオ機器をONにしても本機で聴くことはできません。
- Bluetooth®オーディオ画面表示中にオーディオ機器の電源をOFFにすると、接続が切断され、メッセージが表示されます。この場合、再び接続するにはオーディオ機器側から接続操作を行ってください。
  また、以下の方法でも再接続することができます。

  HC509D-W
  設定 スイッチ→ Bluetooth → Bluetoothで接続 を一度 ON (消灯)させ、再度 ON (点灯)させれば接続を再開します。

  HC509D-A
  メニュー スイッチ→ 設定 → Bluetooth → Bluetoothで接続 (ON 消灯)→(ON 点灯)
- 携帯電話の接続確認中(スイッチを押したときなど)は、Bluetooth®オーディオの再生が一時停止します。接続確認が終了すると、オーディオの再生を再開します。
- オーディオ機器の置き場所や、Bluetooth®無線通信の電波状態によっては、音飛びが発生する場合があります。

Bluetooth®オーディオの設定をする

HC509D-W

1. 設定 スイッチを押す。
2. Bluetooth にタッチする。

HC509D-A

1. メニュー スイッチを押して、設定 にタッチする。
2. Bluetooth にタッチする。

3. 設定したい項目を選ぶ。

Bluetoothで接続	Bluetooth® 接続する／しないを設定します。 Bluetooth® 接続をする／しない.......G-40
機器登録	Bluetooth® オーディオ機器の登録、ユーザ設定をします。 Bluetooth® オーディオ機器を初期登録する.......G-35
機器の接続切替・編集・消去	オーディオ機器の選択や名称編集、消去をすることができます。 接続するオーディオ機器を切り替える.......G-40 オーディオ機器の名称を変える.......G-41 オーディオ機器の登録を消去する.......G-42
車載器のBluetooth情報・変更	Bluetooth® オーディオ機器のパスキーとデバイス名の変更をします。 車載機のBluetooth® 情報を見る.......G-42

■Bluetooth® 接続をする／しない

1

Bluetoothで接続 にタッチする。

ON（点灯）	Bluetooth® 接続します。
ON（消灯）	Bluetooth® 接続できません。

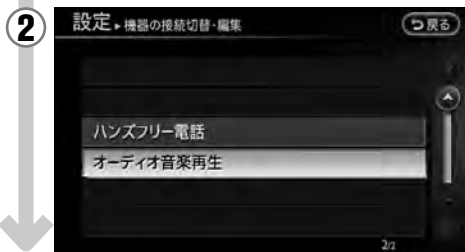
Bluetooth® 接続の設定は、ハンズフリーフォンと共通です。
Bluetooth® 接続をしない設定にすると、ハンズフリーフォンのBluetooth® 接続もできなくなります。

■接続するオーディオ機器を切り替える

1 G-39ページ手順③画面の 機器の接続切替・編集・消去 にタッチする。

2

オーディオ音楽再生 にタッチする。

3
機器を選んでタッチする。

4
[選択する]にタッチする。

表示されるメッセージを確認して、[はい]にタッチします。

使用する機器が切り替わります。

表示されるリストには、ハンズフリーフォンとして登録した携帯電話も表示されます。必ずBluetooth®オーディオ機器として登録した機器を選んでください。

■オーディオ機器の名称を変える

1
G-41ページ手順④画面の[編集する]にタッチする。

2
[デバイス名]にタッチする。

3 **名称を入力し、[終了]にタッチする。**

文字入力のしかた.........B-46

■オーディオ機器の登録を消去する

1

G-41ページ手順④画面の 消去する にタッチする。

表示されるメッセージを確認して、はい にタッチします。

登録が消去されます。

知識

ハンズフリーフォンとして登録した機器を消去すると、Bluetooth® 通信を用いたハンズフリー機能も使用できなくなります。

車載機のBluetooth® 情報を見る

1

G-39ページ手順③画面の 車載機のBluetooth情報・変更 にタッチする。

パスキーやデバイス名などの情報が表示されます。

iPod

お使いのiPod®を本機に接続して音楽を聴くことができます。

＊iPodは米国および他の国々で登録された、Apple Inc.の商標です。

● **接続可能なiPod、ソフトのバージョンについては、以下のとおりです。**

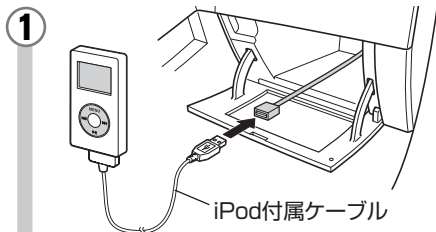
iPod Classic	Ver.1.1.1
iPod nano 第4世代	Ver.1.0.2
iPod nano 第3世代	Ver.1.1
iPod nano 第2世代	Ver.1.1.3
iPod nano 第1世代	Ver.1.3.1
iPod 第5世代／第5.5世代	Ver.1.2.3
iPod touch 第2世代	Ver.2.1.1

※以下のiPodには対応していません。
iPod shuffle、iPod mini、iPod Photo、iPod 第3世代、iPod第4世代、iPhone
※iPodの動作については全てを保証するものではありません。
※上記の一覧表に記載のあるiPodについても、ソフトのバージョンによっては動作しない場合があります。
※動画、静止画表示には対応していません。
※iPod nanoをご使用の際、オーディオブックの表示位置にオーディオブックが表示されない場合があります。
※iPodご使用の際の制約事項につきましては、L-53をご覧ください。

⚠注 意

- ナビに接続するiPodやiPod付属ケーブルを、エアバッグの作動を妨げるような場所に設置しないでください。エアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグの作動時にiPodが飛ばされるなどにより、死亡・重傷に至ることがあります。
- 接続するiPodやiPod付属ケーブルを、運転の邪魔にならない場所に固定するなどしてください。運転に支障をきたし、交通事故の原因になることがあります。
- 運転中は、運転者自身によるiPodの接続・操作・取りはずしをしないでください。
- 安全のため走行中はジャケット写真は表示されません。
車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ、ご覧になることができます。

iPodを本機に接続する

①

iPodのUSBコネクターをグローブボックスなどの専用ケーブルに接続する。

※iPod付属ケーブルで接続してください。

iPodの操作画面が表示される。

ご注意

- 最新のiPodソフトウェアにてお使いください。
- iPodの機種やファームウェアバージョンによっては、一部機能の制限があります。
- 本機でiPodを使用しているときにiPodのデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。
- 画像/映像ファイルが入っているiPodを接続しても、ファイルの再生や表示には対応していません。
- iPod付属ケーブル以外のUSBコネクターケーブルを接続した場合、再生音に雑音が入ることがあります。
- iPodやiPod付属ケーブルを直射日光のあたるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光のあたらないところに保管してください。
- ナビに表示されるジャケット写真は、iTunesで複数の画像を設定しても、最初の画像しか表示されません。

知識

- iPod付属ケーブルは、装備に含まれておりません。お客様ご自身でご用意ください。
- 接続すると、iPodからの操作はできません。
- 本機と接続中、iPodは充電されます。
- 本機と接続するときは、iPodのヘッドホンなどのアクセサリーを使用しないでください。正しく動作しない場合があります。
- 接続するiPodの取扱説明書も併せてご覧ください。

iPodを聴く

■すでにiPodを接続している場合

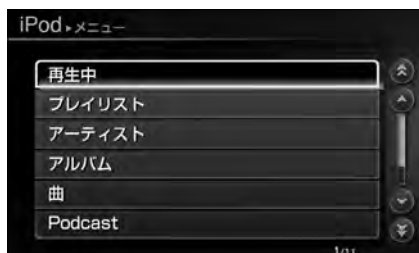
① **HC509D-W** **HC509D-A**

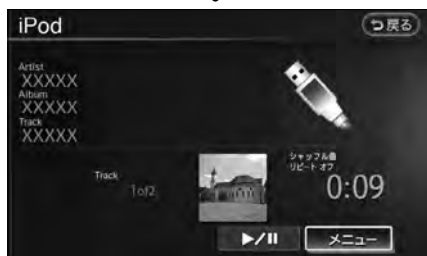
AV スイッチを押し、AVメニューを表示させる。
USB/iPod にタッチする。

HC309D-W **HC309D-A**

DISC スイッチを押す。

押すごとに、オーディオモード（ソース）が切り替わります。
iPod画面が表示されるまで、押してください。

② iPod▸メニュー
再生中
プレイリスト
アーティスト
アルバム
曲
Podcast

再生中 にタッチする。

- 再生中 にタッチしなくても、しばらくするとiPod操作画面が表示されます。

iPod操作画面が表示されます。

操作画面の見かた

① **曲情報**
アーティスト名／アルバム名／曲名が表示されます。
テキスト情報が記録されている曲を再生しているときに表示されます。（Podcast再生時は、アーティスト名の表示が、リリース日に変わります。）

② **トラックインデックス**
現在再生中のトラックインデックスと再生曲の含まれる総インデックスを表示します。

③ **録音／録音停止状態表示**
CDを録音中に表示します。

④ **▶❚❚（再生／一時停止）**
曲を再生または一時停止します。再度タッチすると再開します。

⑤ **プレイモード**
プレイモードを表示します。

⑥ **再生時間**
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

⑦ **ジャケット写真表示**
ジャケット写真がある場合、表示されます。表示させるには、ジャケット写真表示を ON（点灯）にします。

ジャケット写真表示...... G-10

⑧ **メニュー**
再生方法やプレイモードを選ぶことができます。また、前画面が曲リスト画面のときには、タッチすると曲リスト画面に戻ります。

いろいろな再生のしかた

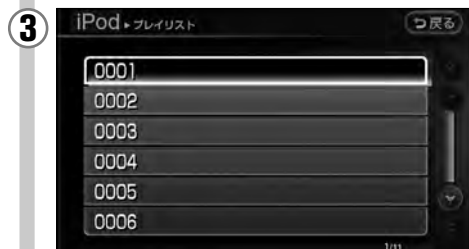
いろいろな選曲方法から曲を探して、再生します。

1 **iPod操作画面の メニュー にタッチする。**

2

再生方法にタッチする。

ここでは、プレイリスト を選びます。

⏶⏷にタッチして、リストを送ります。

3

聞きたいプレイリストにタッチする。

曲リスト画面が表示されます。

- 操作をしないで2秒以上経過すると、選択されているプレイリスト内の曲を自動的に再生します。

4 **聞きたい曲にタッチする。**

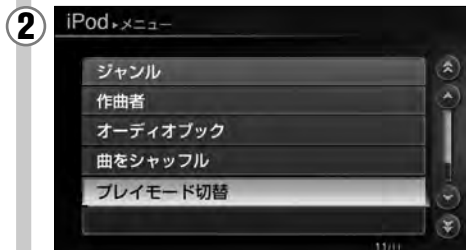
再生が始まります。

☆ 以下の再生方法があります。

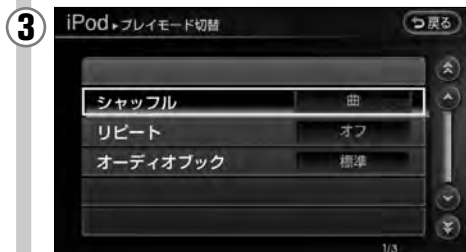
プレイリスト	プレイリストから選曲します。
アーティスト	アーティストのリストから選曲します。
アルバム	アルバムリストから選曲します。
曲	曲名リストから選曲します。
Podcast	ポッドキャストのリストから選曲します。
ジャンル	クラシック、ジャズなどのジャンルリストから選曲します。
作曲者	作曲者のリストから選曲します。
オーディオブック	オーディオブックのリストから選曲します。
曲をシャッフル	iPod内のすべての曲が自動的に順番を変えて再生されます。

プレイモードを切り替える

1 iPod操作画面の メニュー にタッチする。

2

プレイモード切替 にタッチする。

プレイモードの切替画面が表示されます。

3

プレイモードを選ぶ。

シャッフル	自動的に曲順を変えて再生します。 シャッフルの設定を オフ 、 曲 、 アルバム から選ぶことができます。
リピート	曲順に繰り返し再生します。 リピートの設定を オフ 、 1曲 、 すべて から選ぶことができます。
オーディオブック	オーディオブックの再生速度を やや遅い 、 標準 、 やや速い から選ぶことができます。

★ プレイモードは、シャッフルとリピートを以下のように組み合わせて設定することができます。

シャッフルモード / リピートモード	オフ	曲	アルバム
オフ	オフ	シャッフル	アルバム シャッフル
1曲	1曲リピート	1曲リピート	1曲リピート
すべて	全曲リピート	全曲 シャッフル リピート	全アルバム シャッフル リピート

ミュージックボックス

ミュージックボックスについて

音楽CDをHDD（ハードディスクドライブ）に録音して様々な方法で再生することができます。また、HDDに収録されているデータベースからアルバムタイトル、アーティスト名、曲名などを自動的に取得し、表示することができます。

■プレイリストについて

音楽CDを録音すると、HDDに収録されているデータベースまたはCD-TEXTから取得した情報をもとに、アルバム別やアーティスト別、ジャンル別、フィーリング別に自動的にグループ分けして、プレイリストを作成します。
グループ分けされた曲は、「アーティスト」、「アルバム」、「ジャンル」などいろいろな選曲方法で再生することができます。

選曲方法を選ぶ.............G-57

■MCDBについて

ミュージックボックスは「フィーリングモード」（明るい曲、癒やされる曲など）に応じた楽曲の属性情報データベースとして、MCDBを使用しています。
※MCDBは、メディアクリック社の登録商標です。

■ハードディスクの容量について

ビットレート	録音可能曲数	録音可能アルバム数
132kbps	約2,400曲	約240枚
105kbps	約3,000曲	約300枚

※収録可能曲数は、1曲4分、収録可能アルバム数は1枚10曲で換算した場合の数値です。

知識

- 録音品質の設定により、録音可能曲数は変わります。

録音品質を設定する.............G-71

- ハードディスクの容量を確認することができます。

ハードディスクの容量情報を確認する G-68

■録音についての注意

- 本機の故障、誤作動または不具合によりHDDに保存されなかった場合のデータ、及び消失したデータの補償はできません。あらかじめご了承ください。
- お客さまが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- BeatJamを使って、PCからHDDへ音楽データを転送できます。
- 録り直しの効かないCDを録音する場合は、録音後に正しく録音されているか確認してください。
- 高速で録音を行うため、ディスクの状態によっては録音できない場合があります。
- 走行中、悪路などで過大な振動を受けた場合、録音に音飛びなどが発生することがあります。
- 音飛びのあった録音には、「音飛びマーク（ ）」が表示されます。
- 音飛びしたときやディスクの状態が悪いときは、無音状態が録音される場合があります。
- SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）を検出したトラックの録音は行いません。
- ディスクの傷、汚れなどにより、録音できなかったり、音飛びが発生したり、録音に時間がかかる場合があります。

■タイトル自動取得について HC509D-W HC509D-A

HDDに収録されているデータベースに情報がないCDを録音する場合、CDを挿入したときに以下の条件がそろっていると自動的にインターネットのGracenoteデータベースに接続し、タイトルを自動取得します。

＊CD録音時のタイトル自動取得がONに設定されているとき

CD録音時にタイトルを自動取得する G-72

＊携帯電話が本機に接続されているとき

携帯電話を接続する H-6

知識

- 自動取得されたタイトル情報は、実際のタイトルと異なる場合があります。
- 新作CDなどの場合、タイトル情報が取得できない場合があります。
- 携帯電話からタイトル情報を取得するには、通信料金がかかります。
  また、お使いのプロバイダ利用料金が請求される場合があります。
  詳しくは各通信会社にお問い合わせください。

録音をする

知識

- MP3/WMA/AACのファイルは、録音することができません。
- USBメモリからの録音はできません。
- 録音を開始すると最大7倍速で録音し、1曲目から再生を始めます。
- 録音中は、REC と録音曲数が表示されます。
- 録音中に振動、ディスクの傷や汚れなどにより読み取りエラーが発生した場合、その曲の始めに戻り録音を再開します。
- はじめからの録音を3回繰り返しても読み取りエラーが発生した場合は、そのまま録音が継続され音飛びのあったことを示す「音飛びマーク( )」が表示されます。
- CD以外のモード(ソース)に切り替えても、録音は継続されますが、以下の場合は録音を停止します。
  - ＊オーディオをOFFにしたとき
  - ＊CDを取り出したとき
  - ＊HDDの容量がいっぱいになったとき

■自動で録音する

① 操作パネルを開き、音楽CDをDVD/CD挿入口に入れる。

ディスクの入れかた／取り出しかた....................G-4

②

自動的にCD画面に切り替わり、録音を開始する。(オーディオモード時)

録音が完了すると、自動的に録音を停止します。

知識

自動で録音するには、**全曲自動録音する** の設定が ON (点灯)になっている必要があります。初期設定は、**全曲自動録音する** の設定が ON (点灯)になっています。

自動録音の設定をする............ G-69

■曲を選択して録音する

1 操作パネルを開き、音楽CDをDVD/CD挿入口に入れる。

ディスクの入れかた／取り出しかた G-4

2

［メニュー］にタッチする。

3

［曲を選択して録音する］にタッチする。

4

録音する曲を選ぶ。

5 ［録音開始］にタッチする。

録音が完了すると、自動的に録音を停止します。

手動で録音するには、［全曲自動録音する］の設定が ● ON（消灯）になっている必要があります。

● ON（点灯）の場合でも、一度録音を停止すれば手動録音が可能です。

自動録音の設定をする G-69

■録音を停止する

録音中に録音を停止することができます。

① CD操作画面の 録音停止 にタッチする。

録音を停止します。

録音を停止すると、録音中の曲は保存されません。

ミュージックボックスを聴く

HC509D-W HC509D-A

AV スイッチを押し、AVメニューを表示させる。
MusicBox にタッチする。

HC309D-W HC309D-A

DISC スイッチを押す。

押すごとに、オーディオモード（ソース）が切り替わります。
ミュージックボックス操作画面が表示されるまで押してください。

操作画面の見かた

① **再生方法**
再生方法を表示します。

② **曲情報**
アーティスト名、アルバム名または曲名を表示します。

③ **ジャケット写真表示**
BeatJamから転送された楽曲にジャケット写真がある場合、表示されます。表示させるには、ジャケット写真表示 を ON（点灯）します。

ジャケット写真表示...... G-10
BeatJam...................... G-74

④ **Playlist追加**
現在再生されている曲をプレイリストに追加します。

⑤ **メニュー**
選曲メニューやミュージックボックスの設定などの画面を表示します。

⑥ **リスト表示**
アルバム名または曲名を表示します。

⑦ **プレイモード**
プレイモードを表示します。（全リピートのときは表示されません。）

⑧ **再生時間**
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

■リストから再生する

① Music Box操作画面の［リスト表示］にタッチする。

② ［アルバム名］にタッチする。

③ 再生したい曲を選ぶ。

ギャップレス録音の曲を再生した際、ギャップレス再生ができない場合があります。

■再生中の曲をプレイリストに追加する

① Music Box操作画面の［PlayList追加］にタッチする。

↓

再生中の曲がプレイリストに追加されます。

■全曲再生で再生順を変える

① Music Box操作画面の［メニュー］にタッチする。

②
［全曲再生］にタッチする。

③
全曲再生する順番を選ぶ。

☆ 以下の再生順を選ぶことができます。

録音日順で再生	録音日時順に全曲を再生します。
アルバム順で再生	アルバム順に全曲を再生します。
アーティスト順で再生	アーティスト順に全曲を再生します。
曲名順で再生	曲名順に全曲を再生します。
発売日順で再生	発売時期の早い順に全曲を再生します。
Music Navigator	走行シーンにマッチした曲を再生します。［Navigator登場頻度］が設定されている場合は、シチュエーションにマッチしたナレーションが、曲と曲の間に入ります。

［Music Navigator］を選択していても走行時の状況にあった曲が再生されない場合があります。

■選曲方法を選ぶ

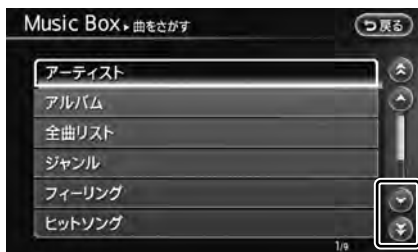
アーティスト、アルバム、ジャンルなどいろいろな方法で選曲して再生することができます。再生単位は、アルバム単位になります。

1 **Music Box操作画面の メニュー にタッチする。**

2

曲をさがす にタッチする。

3

選曲方法を選ぶ。

リストを下にスクロールして表示させてください。

☆ 以下の選曲方法があります。

アーティスト	指定したアーティストを選んで再生します。
アルバム	指定したアルバムを再生します。
全曲リスト	録音されているすべての曲から選曲できます。
ジャンル	ジャンルを指定して選曲できます。
フィーリング	明るい曲、癒される曲、せつない曲、ノリノリな曲の一覧から選曲できます。
ヒットソング	過去にヒットした曲や今ヒットしている曲を選曲できます。
子供向けの曲	童謡や子守歌、子供の歌番組で紹介された曲などを選曲できます。
よく聴く曲	よく聴く曲から順番に再生します。
再生回数が少ない曲	再生回数の少ない曲を順番に再生します。

各フィーリングの情報をグラフで見ることができます。

フィーリングモードの情報を表示する..................G-69

■プレイリストを再生・編集する

お客様ご自身で作成されたプレイリストを再生します。
また、お好みの曲をプレイリストに追加したり、プレイリストの順番変更や、名称の編集をすることができます。

1. **Music Box操作画面の メニュー にタッチする。**

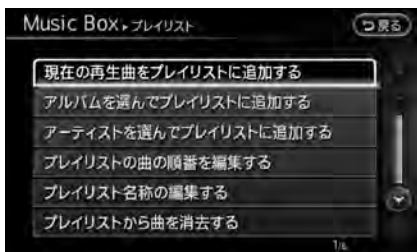
2.

プレイリスト にタッチする。

プレイリストが表示されます。

リストにタッチすると、再生します。

編集 にタッチすると、プレイリストの編集画面が表示されます。

●プレイリストの編集画面

プレイリストを追加したり、順番の変更、名称の編集などをすることができます。

■プレイモードを切り替える

① Music Box操作画面の メニュー にタッチする。

②

プレイモード切替 にタッチする。

③

プレイモードを選ぶ。

選択したモードが ● ON（点灯）します。

戻る にタッチして、操作画面に戻ります。

☆ 以下のプレイモードを選ぶことができます。

•全リピート	全曲を繰り返し再生します。
•1トラックリピート	同じ曲を繰り返し再生します。
•1アルバムリピート •1アーティスリピート	1アルバムまたは1アーティスト全曲を繰り返し再生します。
•全トラックランダム	全曲を自動的に順番を変えて再生します。
•1アルバムランダム •1アーティストランダム	1アルバムまたは1アーティスト全曲を自動的に順番を変えて再生します。
•1グループランダム •1プレイリストランダム	1グループまたは1プレイリスト全曲を自動的に順番を変えて再生します。

選曲方法により選べるプレイモードが異なります。

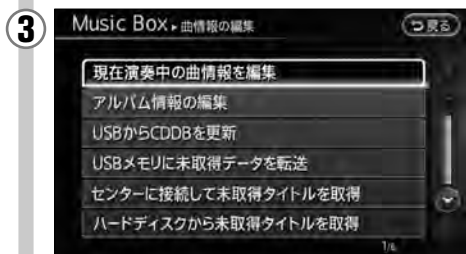
曲情報を編集する

現在演奏中の曲やアルバムの情報を編集することができます。

1. Music Box操作画面の メニュー にタッチする。

2.

曲情報の編集 にタッチする。

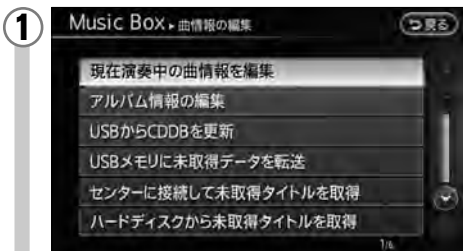
「曲情報の編集」画面が表示されます。

3.

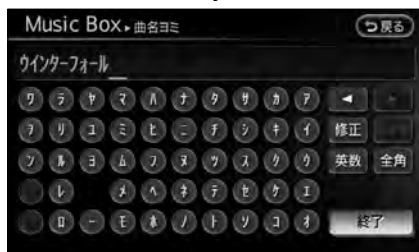
編集したい項目にタッチする。

☆ 以下の項目を編集することができます。

現在演奏中の曲情報を編集	演奏中の曲情報を編集することができます。 現在演奏中の曲情報を編集する.......G-61
アルバム情報の編集	アルバム情報を編集することができます。 アルバム情報を編集する.......G-62

■現在演奏中の曲情報を編集する

①

［現在演奏中の曲情報を編集］にタッチする。

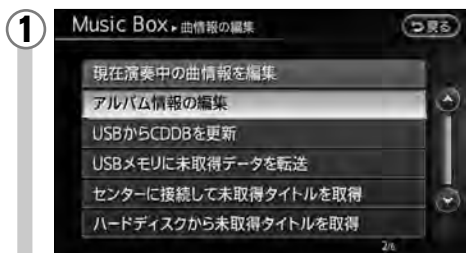
②

編集する項目を選び、文字入力する。

入力し終わったら、**［終了］**にタッチする。

●［フィーリング］を選んだ場合

手順②で **［フィーリング］** を選んだ場合は、フィーリング選択画面が表示されます。

演奏中の曲のフィーリングを設定します。

■アルバム情報を編集する

① **アルバム情報の編集** にタッチする。

② 編集したいアルバムを選ぶ。

③ 編集する項目を選び、文字入力する。

● **曲名を編集** を選んだ場合

手順③で **曲名を編集** を選んだ場合は、曲名の編集画面が表示されます。

タイトル情報を取得する

録音した音楽CDのタイトル情報が異なっているときや情報を取得できなかった場合、タイトル情報を取得することができます。

1. Music Box操作画面の メニュー にタッチする。

2. 曲情報の編集 にタッチする。

3. 取得する方法にタッチする。

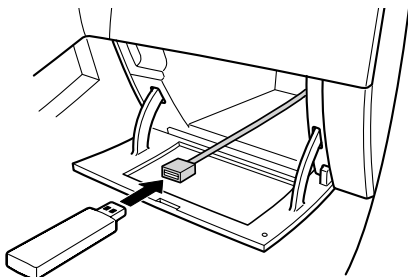
☆ 以下の方法で取得することができます。

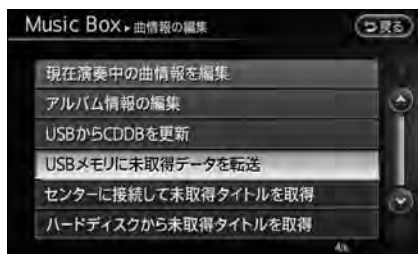
USBからCDDBを更新／USBメモリに未取得データを転送	USBメモリを使い、パソコンでインターネットのGracenoteデータベースからタイトル情報を取得します。 USBメモリから取得する.......G-64
センターに接続して未取得タイトルを取得 HC509D-W HC509D-A	インターネットのGracenoteデータベースに接続して、携帯電話でタイトル情報を取得します。 センターに接続して取得する.......G-65
ハードディスクから未取得タイトルを取得	HDDのデータベースからタイトル情報を取得します。 HDDから取得する.......G-66

■USBメモリから取得する

未取得情報をUSBメモリに転送し、パソコンでインターネットのGracenoteデータベースから取得します。

USBメモリを用いてインターネットのGracenoteデータベースから取得するには専用アプリケーション「タイトル情報サーチ」が必要です。
「タイトル情報サーチ」のダウンロードは下記のWebサイトをご参照ください。
http://drive.nissan-carwings.com/TITLE_SEARCH/index.htm
※Webサイトのアドレスは、都合により変更させていただく場合があります。

1

USBメモリをグローブボックスなどの専用ケーブルに接続する。

2

USBメモリに未取得データを転送 にタッチする。

未取得データのリスト選択画面が表示されます。

3

リストを選択し、タイトル取得開始 にタッチする。

選択したすべてのデータがUSBメモリに転送されます。

※データの転送が完全に終了するまでUSBメモリは抜かないでください。

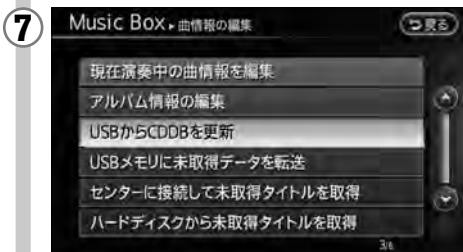
4 **USBメモリを専用ケーブルから抜き取る。**

5 **インターネットのGracenoteデータベースから取得する。**

USBメモリをご自宅のパソコンに接続し、「タイトル情報サーチ」からタイトル情報を取得します。

＊ダウンロードは、
http://drive.nissan-carwings.com/TITLE_SEARCH/index.htm
をご参照ください。

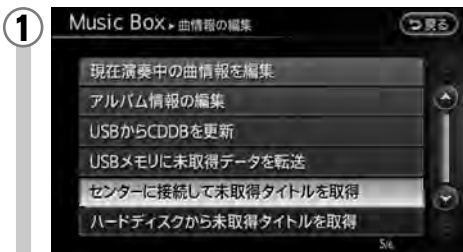
6 **USBメモリを再度専用ケーブルに接続する。**

7

USBからCDDBを更新 を選びます。

USBメモリに取り込んだタイトル情報を取得します。

■センターに接続して取得する HC509D-W HC509D-A

インターネットのGracenoteデータベースに接続してタイトル情報を携帯電話で取得します。

1

センターに接続して未取得タイトルを取得 にタッチする。

2

取得したいアルバムまたは録音日付を選ぶ。

選択 が点灯します。

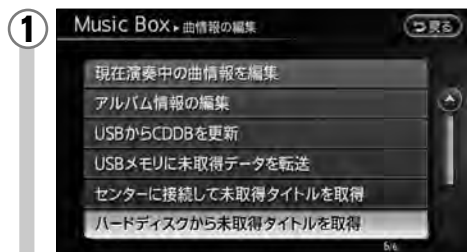
3 **[タイトル取得開始]にタッチする。**

インターネットのGracenoteデータベースに接続し、タイトル情報を取得します。

インターネットのGracenoteデータベースとの接続には、携帯電話の通信料金がかかります。

■HDDから取得する

HDDに収録されているデータベースから取得します。

1

[ハードディスクから未取得タイトルを取得]にタッチする。

2

取得したいアルバムまたは録音日付を選ぶ。

[選択]が点灯します。

3 **[タイトル取得開始]にタッチする。**

HDDに収録されているデータベースから検索し、タイトル情報を取得します。

ミュージックボックスの設定をする

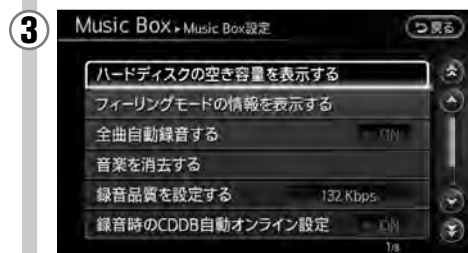
HDDへの録音設定の変更やHDDに録音した音楽ファイルの初期化をすることができます。

1 MusicBox操作画面の メニュー にタッチする。

2

MusicBox設定 にタッチする。

MusicBoxの設定画面が表示されます。

3

設定したい項目を選ぶ。

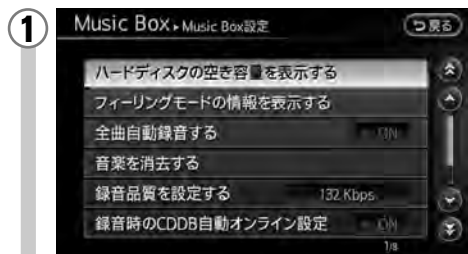
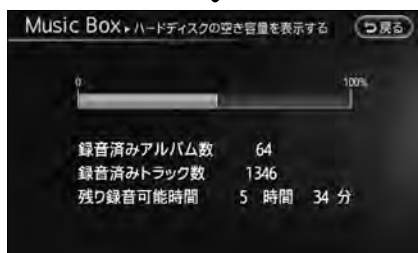
☆ 以下のミュージックボックスの設定をすることができます。

ハードディスクの空き容量を表示する	ミュージックボックス容量情報が表示されます。HDD容量が少ないときは、不要な曲を消去して容量を増やすことができます。 ハードディスクの容量情報を確認する G-68
フィーリングモードの情報を表示する	登録されているフィーリングモードの情報を表示します。 フィーリングモードの情報を表示する G-69
全曲自動録音する	CDを入れたときの自動録音／手動録音の設定をします。 自動録音の設定をする G-69
音楽を消去する	録音した音楽ファイルを消去します。アルバムまたは1曲を選んで消去します。すべての曲を一括で消去することもできます。 音楽ファイルを消去する G-70

録音品質を設定する	録音品質（曲数優先または音質優先）を設定します。 録音品質を設定する G-71
録音時のCDDB自動オンライン設定 HC509D-W HC509D-A	HDDに収録されているデータベースに情報がないCDを録音する場合、自動的にインターネットのGracenoteデータベースに接続し、タイトルの取得をします。 CD録音時にタイトルを自動取得する G-72
Navigator登場頻度	シチュエーションに応じたナレーションが設定した頻度で入ります。 Navigator登場頻度 G-73
CDDBのバージョンを表示する	Gracenoteデータベースのバージョンを表示します。 Gracenoteデータベースのバージョンを確認する G-73

■ハードディスクの容量情報を確認する

HDDに録音した曲数やアルバム数、残り録音可能時間を確認することができます。

①

ハードディスクの空き容量を表示する にタッチする。

ミュージックボックス容量情報が表示されます。

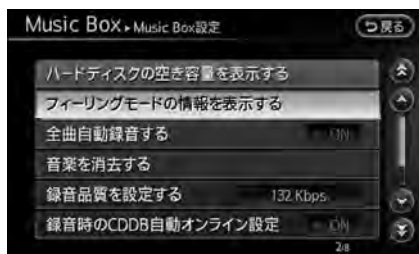
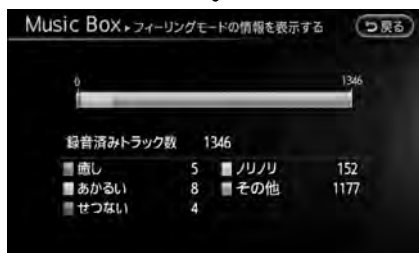
知識

HDD容量が少ないときは、不要な曲を消去して容量を増やすことができます。

音楽ファイルを消去する......... G-70

■フィーリングモードの情報を表示する

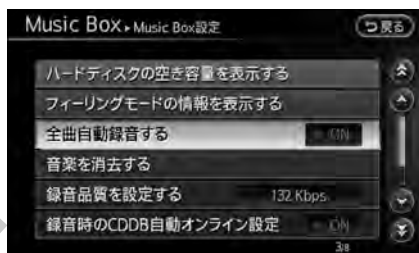
各フィーリングのトラック数と割合をグラフで表示します。

1

フィーリングモードの情報を表示する にタッチする。

フィーリングモード情報が表示されます。

■自動録音の設定をする

CDを挿入したときに自動的に録音を開始する「自動録音」と、再生しているときに録音を開始する「手動録音」を切り替えることができます。

録音をする....................G-51

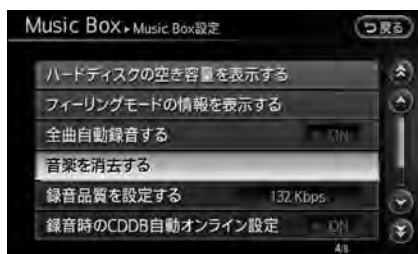
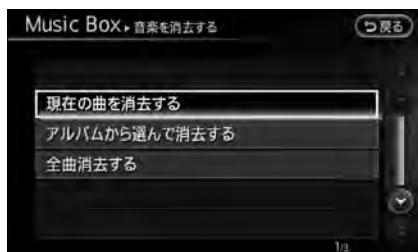
1

全曲自動録音する にタッチする。

● ON：

CD全曲の自動録音をします。

初期設定は、全曲自動録音する がONに設定されています。

■音楽ファイルを消去する

録音した音楽ファイルを消去します。アルバムまたは1曲を選んで消去します。すべての曲を一括で消去することもできます。

1 音楽を消去する にタッチする。

2 消去する方法を選ぶ。

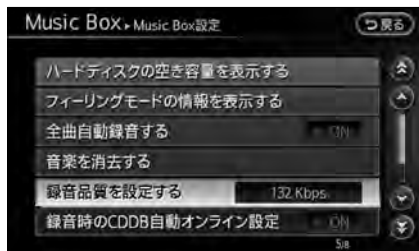
現在の曲を消去する	現在演奏中の曲を消去します。
アルバムから選んで消去する	アルバムを消去します。また、アルバム内の曲を選択して消去することもできます。
全曲消去する	ミュージックボックス内のすべての曲を消去します。

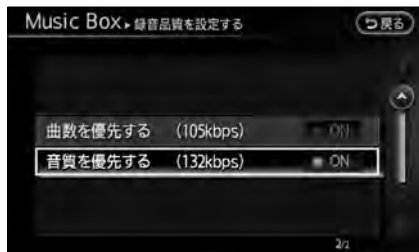
3 メッセージが表示されたら、はい にタッチする。

消去したアルバムや曲は元に戻すことはできません。消去する場合は、十分注意して行ってください。

■録音品質を設定する

録音品質を変更することができます。

①

録音品質を設定する にタッチする。

②

録音品質を選ぶ。

曲数を優先する（105kbps）	音質を標準にして曲数を多く録音します。
音質を優先する（132kbps）	曲数を少なくして音質を良く録音します。

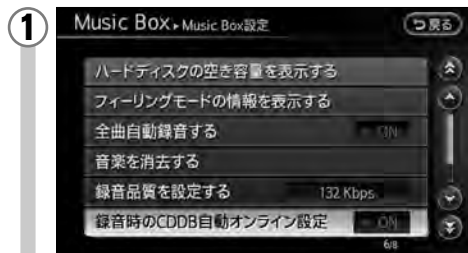
知識

初期設定は、音質を優先する（132kbps） に設定されています。

■CD録音時にタイトルを自動取得する HC509D-W HC509D-A

HDDに収録されているデータベースに情報がないCDを録音する場合、自動的にインターネットのGracenoteデータベースに接続し、タイトルの取得をします。

※携帯電話の接続が必要です。

1

録音時のCDDB自動オンライン設定 にタッチする。

知識

- 携帯電話からタイトル情報を取得するには、携帯電話の設定や接続をする必要があります。
- Bluetooth® 機能のない携帯電話の場合は、別売の通信ケーブルの接続が必要です。

  携帯電話を接続する......................H-6

- 携帯電話からタイトル情報を取得するには、通信料金がかかります。また、お使いのプロバイダ料金が別途請求される場合があります。詳しくは、各通信事業者へご確認ください。

■Navigator登場頻度

再生順を［Music Navigator］にしているときのみ、演奏中の曲に対してシチュエーションに応じたナレーションが入ります。

①

［Navigator登場頻度］にタッチする。

ナビゲーターによる走行時の季節・時間帯などシチュエーションに応じたナレーションが入ります。

ナビゲーターの登場頻度を、［多い］、［少ない］、［オフ］から選ぶことできます。

■Gracenoteデータベースのバージョンを確認する

①

［CDDBのバージョンを表示する］を選びます。

Gracenoteデータベースのバージョンを確認します。

PC（パソコン）から音楽ファイルを転送する／本機の音楽ファイルをPCへバックアップする

同梱のアプリケーションソフト「BeatJam」を使って、PCから本機に音楽ファイルを転送したり、本機からPCに録音した音楽ファイルをバックアップすることができます。転送およびバックアップ方法の詳細は、付属プログラムディスク「BeatJam」のPDFマニュアルをご参照ください。

ご注意

- **BeatJamの操作は、必ず車を停止させて行ってください。**
- 本機とPCの接続は、必ず本機を再起動させてから行ってください。
- ファイル転送中は、エンジンを切ったり、USBケーブルを抜いたりしないでください。
- この手順を守らないで接続した場合、PCが故障することがあります。
- ファイル転送中はカメラは使えません。

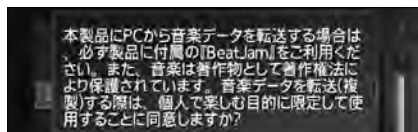
1 PCにBeatJamをインストールする。

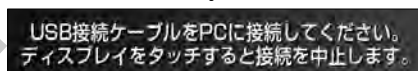
インストール方法は、付属プログラムディスク「BeatJam」のPDFマニュアルまたは取扱説明書をご参照ください。

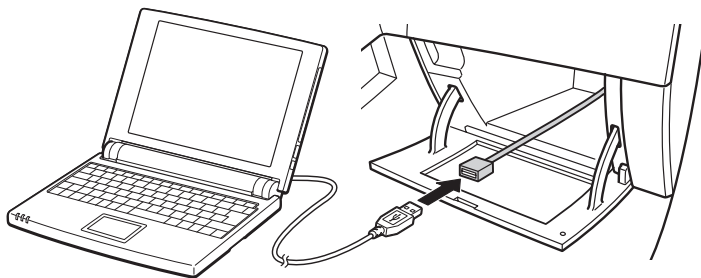
2 本機のMusicBox操作画面の メニュー にタッチする。

3 新譜情報 にタッチする。

4

BeatJam にタッチする。

メッセージを確認し、はい にタッチして、本機を再起動させます。

USB接続ケーブルをPCに接続してください。
ディスプレイをタッチすると接続を中止します。

⑤ USBケーブルで本機とPCを接続する。

音楽ファイルの転送は、PC側操作で行います。
転送方法は、「BeatJam」のPDFマニュアルなどをご覧ください。

音楽ファイルの転送が始まります。

⑥ 転送が終了したらメッセージを確認して画面にタッチする。

BeatJamを接続終了しました。
ディスプレイをタッチすると
ナビゲーションシステムを再起動します。

現在更新中です。。

転送したファイルが更新されます。

※データ更新中にエンジンを切ると、データが正しく更新されません。その場合、再度エンジンをかけた時に自動的にミュージックボックスのデータを修復します。このデータ修復処理には数十分かかることがあります。ミュージックボックスの画面には「しばらくお待ちください。この操作には時間がかかる場合があります…」と表示されます。

知識

- USBケーブルは、装備に含まれておりません。お客様がご自身でご用意くださるか、販売店にて別売のBeatJam接続用ケーブルをお買い求めください。
- 接続には、別売のBeatJam接続用ケーブルをお使いになることを推奨いたします。ただしBeatJam接続用ケーブルは、本機専用品ですので、他の用途にお使いになることはできません。
- **音楽ファイルの転送について**
  - ・最大転送曲数…………… 65,535曲。（※ただし、この曲数に達していなくてもハードディスクの空き容量がなくなった場合は転送ができなくなります。）
  - ・最大転送プレイリスト… 5つまで。1つのプレイリストに含むことのできる最大曲数は999曲。
- BeatJamで転送する際には、いくつかの点にご注意ください。

  BeatJamについて G-76
- BeatJamに転送した音楽ファイルは本機には残りません。
- BeatJamに転送した音楽ファイルは、再び本機に戻すことができます。

BeatJam®について

BeatJamは、(株)ジャストシステムが開発したデジタルオーディオプレーヤーソフトです。

■BeatJamから転送した音楽ファイルを使うときには

本機で利用できる音楽ファイルは、録音·変換されたATRAC3、ATRAC3 Plus、WMA、MP3およびAAC形式です。
また、ミュージックボックス機能を有効に使用するために、必ず曲情報を取得してください。ただしGracenoteデータベースにない曲の情報は取得できません。曲情報の取得がない音楽ファイルは「フィーリング再生」をすることができません。

■著作権制限について

BeatJamは音楽コンテンツの著作権保護のために、音楽ファイルの使用に制限を設けています。
BeatJamに取り込んだ音楽ファイルに再生期間や再生回数の利用条件がある場合は、利用条件に沿った操作しかできません。

■BeatJamの使いかたを詳しく知るには

付属プログラムディスク「BeatJam」のPDFマニュアルをご覧ください。

知識

- 「BeatJam」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 「ATRAC」は、ソニー株式会社の登録商標です。
- 著作権保護のあるWMAファイルおよびAACファイルは、本機では再生できません。

USBメモリ

USBメモリに収録された音楽ファイル、映像データを再生することができます。映像ファイルは、DivX®（HC509D-W HC509D-A）、MPEG4（ASF）フォーマット、音楽ファイルは、MP3、WMA、MPEG4-AACフォーマットによって作成されたデータを再生することができます。

ご注意

お客様が編集・収録されるDivXフォーマット映像に、

● **視聴回数制限がある場合**

- 本機で視聴可能にするには、事前にユーザーアカウントを取得し、本機を再生機器として登録することが必要です。

DivX機器の登録方法……L-23を参照し、手順に従って登録してください。

- USBメモリに記録された視聴回数制限ファイルを再生中にDVDなどに記録された視聴回数制限ファイルを再生しないでください。オーディオソースを切り替えた際に視聴回数がカウントされる場合があります。

● **視聴回数制限がない（フリーの）場合**

そのまま本機で視聴できます。

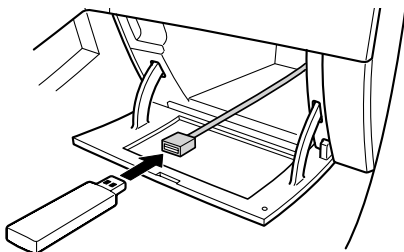
USBメモリについて

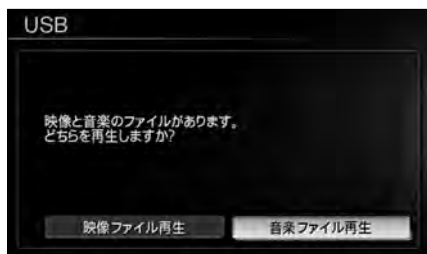
- USBメモリは装備に含まれておりません。お客様ご自身で、ご用意ください。
- ご使用に際しては、USBメモリが正しく接続されていることをご確認ください。
- USBメモリのフォーマットは本機では行えません。お手持ちのパソコンなどで行ってください。
- USBメモリには一部対応していない機種があります。
- 使用できる USBメモリ　：USB2.0
  - ファイルシステム　：FAT16、FAT32
  - 最大メモリサイズ　：64Gバイト
  - セクタサイズ　：512バイト
  - クラスタサイズ　：32Kバイト以下
- 複数のパーテーションに分かれているUSB機器は使用できない場合があります。
- 暗号化やコピープロテクト、著作権保護されたファイルなどは再生できません。
- データ収録の制限について
  - ・最大ファイル数　：5,000
  - ・最大フォルダー数　：255
  - ・最大フォルダー階層：8
  - ・1ファイルあたりの最大ファイルサイズ：2GB
  - ・ファイル名の最大長：99バイト（拡張子を含めて日本語で最大47文字相当）
- USBメモリに格納しているファイルの数が多いと、再生開始までの時間が長くなります。

⚠注 意

- 静電気や電気的ノイズを受けたり、暖房器具の熱が直接あたる恐れのある場所にUSBメモリを放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。
- 安全のため走行中は映像やジャケット写真は表示されません。
  車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ、ご覧になることができます。

USBメモリの音楽または映像データを再生する

1.

   USBメモリをグローブボックスなどの専用ケーブルに接続する。

2.

   再生したいファイルを選ぶ。

   音楽コンテンツと映像コンテンツがどちらか１つのみの場合は、そのまま再生画面が表示されます。

3.

   再生画面（音楽または映像）が表示される。

USB メモリ操作画面を表示させる

<すでに USB メモリが接続されている場合>

HC509D-W HC509D-A

AV スイッチを押し、AV メニューを表示させる。
USB/iPod にタッチする。

HC309D-W HC309D-A

DISC スイッチを押す。

押すごとに、オーディオモード（ソース）が切り替わります。
USB操作画面が表示されるまで、押してください。

オーディオ操作画面の見かた

①曲情報

アーティスト名/アルバム名/曲名が表示されます。
(テキスト情報が記録されている曲を再生しているときに表示されます。)

②フォルダ/トラックインデックス

再生中の曲の入ってるフォルダと全フォルダ数。または再生中の曲と全トラック数を表示します。

③録音／録音停止状態

CDを裏で録音中に表示します。

④ジャケット写真表示

ジャケット写真がある場合、表示されます。表示させるには、ジャケット写真表示を ON (点灯)にします。

ジャケット写真表示...... G-10

⑤メニュー

プレイモードの切り替えをします。

⑥リスト表示

フォルダリストやファイルリストを表示します。

⑦MP3(WMA/AAC)

再生中のファイルフォーマットが表示されます。
また、iTunesで作成されたm4aのデータを再生しているときはAACと表示されます。

⑧プレイモード

プレイモードを表示します。(全リピートのときは表示されません。)

⑨再生時間

曲が始まってから現在までの時間を表示します。

■リストから選曲する

① USB操作画面の[リスト表示]にタッチする。

②
フォルダリストまたは曲リストから選曲する。

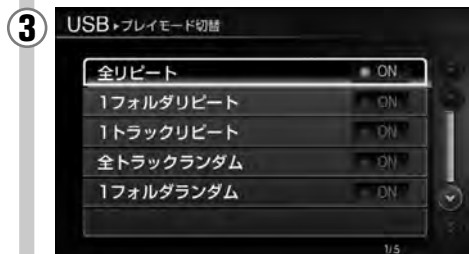
■プレイモードを切り替える

① USB操作画面の[メニュー]にタッチする。

②
[プレイモード切替]にタッチする。

- [映像ファイルリストへ]にタッチすると、映像画面に切り替わります。

※映像ファイルがあるときに表示されます。

③
プレイモードを選ぶ。

☆ 以下のプレイモードを選べます。

全リピート	すべての曲を繰り返し再生します。
1フォルダリピート	1つのフォルダの全曲を曲順に繰り返し再生します。（フォルダがある場合のみ）
1トラックリピート	1つの曲を繰り返し再生します。
全トラックランダム	すべての曲を自動的に順番を変えて再生します。
1フォルダランダム	1つのフォルダの全曲を自動的に順番を変えて再生します。（MP3/WMA/AACファイルを含むフォルダが複数ある場合のみ）

映像操作画面の見かた

①フォルダ/ファイル番号

②再生情報表示

再生時間、画面サイズ情報、プレイモード情報が表示されます。

③音声フォーマット

音声フォーマットを表示します。

④サウンドモード

ファイルのサウンドモードを表示します。

⑤設定

プレイモード切替や音声、画質などの設定画面を表示します。

⑥リスト表示

リストの選択をします。

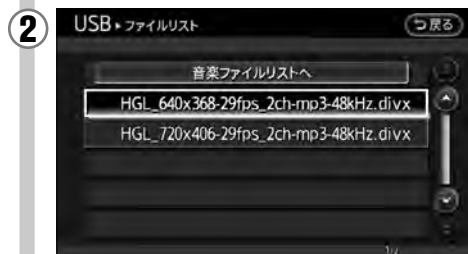
⑦操作メニュー

再生、停止などの操作メニューを表示します。

■操作メニュー

▶ 再生／ ❚❚一時停止	フォルダまたはファイルを再生します。 再生されているときは、再生を一時停止します。再度タッチすると再生を再開します。
■停止	再生を停止します。 停止中にもう一度 **■停止** にタッチすると、レジュームキャンセルします。 **▶ 再生** にタッチするとディスクの最初から、再生します。
▶▶❚ 早送り	次のフォルダまたはファイルへ進みます。長くタッチすると早送りします。
❚◀◀ 巻き戻し	1回タッチすると、次のフォルダまたはファイルの最初に戻ります。2回タッチすると、前へ戻ります。長くタッチすると早戻しします。

■リストから映像を選ぶ

① USB操作画面の[リスト表示]にタッチする。

②
フォルダまたはファイルをリストから選ぶ。

再生画面が表示されます。

- [音楽ファイルリストへ]にタッチすると、オーディオ画面に切り替わります。

※音楽ファイルがあるときに表示されます。

視聴回数制限のあるファイルの場合には、最初に残りの使用回数を確認する画面が表示されます。メッセージを確認してご視聴ください。

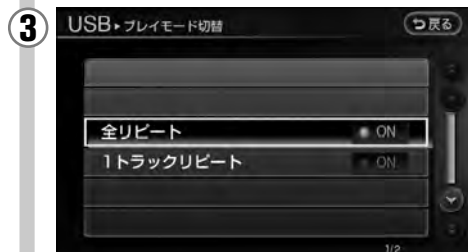
■プレイモードを切り替える

① USB操作画面の[設定]にタッチする。

②
[プレイモード切替]にタッチする。

- [音楽ファイルリストへ]にタッチすると、オーディオ画面に切り替わります。

※音楽ファイルがあるときに表示されます。

③
プレイモードを選ぶ。

全リピート	すべてのファイルを繰り返し再生します。
1トラックリピート	1つのファイルを繰り返し、再生します。

■音声、画質などの設定をする

① USB操作画面の 設定 にタッチする。

②

設定したい項目を選ぶ。

☆ 以下の項目を設定できます。

音楽ファイルリストへ	オーディオ画面に切り替わります。(音楽ファイルがある場合のみ表示されます。)	
プレイモード切替	プレイモードを切り替えます。	G-83
10キーダイレクト入力	見たいフォルダ、ファイルを指定して再生することができます。	G-145
画質調整	明るさ、コントラストなどの画質調整ができます。	G-149
ダイナミックレンジコントロール	ダイナミック・レンジ・コントロール(DRC)機能のON/OFFを設定できます。	G-148
音声	ファイルに収録されている音声を切り替えることができます。	G-150
字幕	ファイルに収録されている字幕の言語を切り替えることができます。	G-150
画面設定	ワイド、フル、ノーマル、シネマから選びます。	G-151

地上デジタルテレビ

⚠注 意

安全のため走行中は地上デジタルテレビ画面は映りません。車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ、ご覧になることができます。それ以外では走行中と判断し、「画像は停車中にお楽しみください」と表示され、音声のみとなります。

使用上のご注意

■地上デジタル放送について

- 地上デジタル放送（12セグ）を受信するには、付属のB-CASカードをあらかじめB-CASカードリーダーに挿入してください。
  このカードには提供される番組の著作権を保護する機能が組み込まれています。
- B-CASカードを挿入しないと、地上デジタル放送（12セグ）の受信ができません。B-CASカード使用許諾契約約款をよくお読みの上、挿入してください。
  B-CASカードはダッシュボードの上など、温度の高くなる場所に放置しないでください。

B-CASカード................ G-88

■製造メーカーについて

- 本地上デジタルチューナーは、日産自動車株式会社向けにクラリオン株式会社が開発・製造しています。

■B-CASカードについて

- B-CASカードに関するお問い合わせ、および紛失をされた場合は下記へお願いいたします。

  株式会社　ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ
  カスタマーセンター　0570-000-250
  IP電話からの場合　045-680-2868
  受付時間　10：00～20：00
- 詳細情報は、下記のホームページでご覧いただけます。

  URL http://www.b-cas.co.jp/

■正しくお使いいただくために

- デジタル放送では受信状態が悪いと、映像のブロックノイズ、音声途切れの発生や静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用に比べて受信可能エリアが狭くなります。また、車の場所や方向、速度などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルに近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

■次の点にご留意ください

- 本機は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機はARIB（電波産業会）規格に基づいた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■取り扱いについて

- **エンジンをかけてご使用ください。**
  エンジンを止めた状態で長時間使用すると、バッテリーが消耗します。

本機の特徴

地上デジタル放送に対応

地上デジタル放送を高画質・高音質に楽しむことができます。

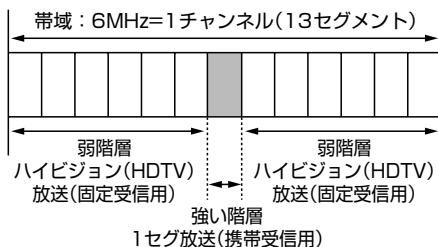
知識

- 本機は、双方向データサービスに対応しておりません。
- 地上デジタル放送とは、UHF帯の電波を使って行う放送で関東・中京・近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは、順次拡大されます。高品質の映像と音声、更にデータ放送が特徴です。現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、それをハイビジョン化したものが中心です。

1セグに対応

地上デジタル放送に加え、1セグにも対応しています。
また、地上デジタル放送⇔1セグへの自動切り換えまたは手動切り換えにより、受信エリアが拡大します。（番組によってはサイマル放送が運用されていない場合があります。）

知識

- 地上デジタル放送はUHF帯域の電波を使っており、6MHzを1つのチャンネルとして割り当てられています。これを13のセグメントに分割して、画質により携帯受信向けの簡易動画 放送（強階層）、固定受信向けのHDTV放送（弱階層）に分類しています。このうちのモバイル端末（携帯電話など）の強階層に割り当てられている「1つのセグメント」を使って放送を行うことから「1セグ放送」と呼ばれています。
- 1セグの番組は、地上デジタル放送と同じものですが、あくまで携帯端末のような小画面を対象とした簡易動画です。ハイビジョンではありません。そのため、お使いの車載用モニターでの表示画質が地上デジタル放送と1セグでは、大きく異なります。
- 本機は、1セグのデータ放送には対応しておりません。
- サイマル放送とは、同じ時間帯に地上デジタル放送と1セグでそれぞれ同じ内容の番組を放送することです。放送局によっては、地上デジタル放送と1セグ放送とで番組が異なる場合があります。

自宅エリア／おでかけエリア

受信チャンネルの設定には「自宅エリア」と「おでかけエリア」の２種類があります。
車が自宅周辺にあるときは「自宅エリア」で、旅行などのおでかけ先で使用するときは、「自宅エリア」とは別に「おでかけエリア」でチャンネル設定できます。

受信チャンネルを設定する（自宅エリア）..................G-95
受信チャンネルを設定する（おでかけエリア）...........G-96

系列局サーチ

地上デジタル放送では、同一放送局であっても走行エリアによってはチャンネルが異なる場合があります。
系列局サーチ機能は、受信している放送局のエリア圏外に入ったときなど、走行エリア付近の系列局をサーチする機能です。

B-CASカード

■B-CASカードについて

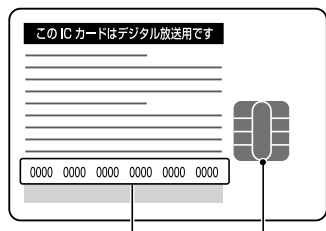
アドバイス

- カードの説明書に記載の文面をよくお読みのうえ必ず挿入してください。
- B-CASカードを挿入しないと地上デジタル放送が視聴できません。
- 「B-CASカード使用許諾契約約款」を、よくお読みのうえ、「取扱説明書」とともに大切に保管してください。

地上デジタル放送は、放送番組の著作権保護のため、2004年4月からコピー制御信号を加えて放送されています。
その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

●B-CASカード

地上デジタル放送（12セグ）の視聴のため必要なカードです。

■B-CAS カード

B-CASカード番号は、B-CASカードを管理するための大切な番号です。
問い合わせの際も必要です。裏表紙の「便利メモ」に記入しておいてください。

付属のB-CASカードの所有権は、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。無断で複製できません。

- 破損・紛失などB-CASカードの再発行には手数料がかかります。
- B-CASカードの台紙に記載されている事項やB-CASカード使用許諾契約約款などをよくお読みください。
- 付属のB-CASカードを使用して、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送との有料受信契約をすることはできません。
- B-CASカードを破損・紛失などをされた場合は、お客様より（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンターへお問い合わせください。

■B-CASカード取り扱い上の注意点

- 折り曲げたり、変形させない。
- 重いものを置いたり、踏みつけたりしない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- IC（集積回路）部に手をふれない。
- 分解加工は行わない。
- BS ／ 110度CSデジタル放送対応受信機には使用しない。
（同梱のB-CASカードは地上デジタル専用です。）

●B-CASカードについてのお問い合わせは
（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター
TEL 0570-000-250

■B-CASカードを挿入する

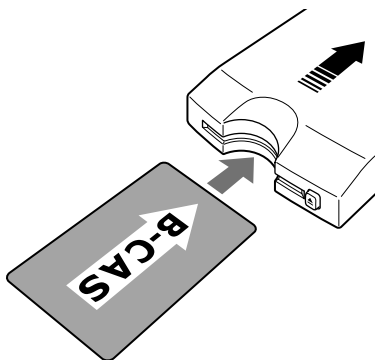
⚠警 告

機器内部に水や異物を入れないでください。

内部に金属物や燃えやすい物などが入ると、動作不良になるだけでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙、発火、感電の原因になります。水などがかからないようにご注意ください。

⚠注 意

B-CASカードの挿入は、キースイッチをOFFにしてから行ってください。

1

B-CASカードを“カチッ”と音がするまで差し込んでください。

知識

B-CASカードの向きに注意して挿入してください。左の図のようにB-CASの矢印の方向に挿入します。

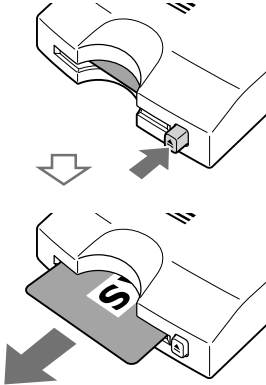
⚠注 意

- B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

■B-CASカードを取り出す

⚠注 意

B-CASカードの取り出しは、キースイッチをOFFにしてから行ってください。

①

イジェクトボタンを押し、ゆっくりとB-CASカードを取り出してください。

知識

- B-CASカードには、IC（集積回路）が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。
- B-CASカードを抜き差ししたときは、３秒以上経ってから、B-CASカードテストを行ってください。

アドバイス

カードの不具合と確認され、カードの故障交換が必要な場合は、B-CAS社へお問い合わせください。

地上デジタルテレビの画面を表示させる

1 HC509D-W HC509D-A

AV スイッチを押し、AVメニューを表示させる。
TV1 または TV2 にタッチする。

HC309D-W HC309D-A

TV・AUX（TV）スイッチを押す。

押すごとに、TV1→TV2→AUXと切り替わります。

2

テレビ操作画面が表示されます。

操作画面は、操作をしないと8秒後に消えて通常のテレビ画面になります。

画面にタッチすると、再び表示されます。

■初めて地上デジタルテレビを見るときには

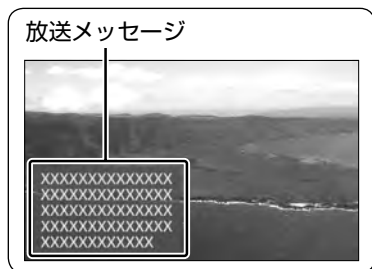
初めて地上デジタルテレビを見るときは、「自宅のエリア、郵便番号の設定をしてください」というメッセージ画面が表示されます。設定 にタッチして、受信チャンネルの設定を行ってください。

受信チャンネルを設定する（自宅エリア）............ G-95

■テレビ操作画面の見かた

①現在のテレビモード
TV1（自宅エリア）かTV2（おでかけエリア）のどちらかが表示されます。

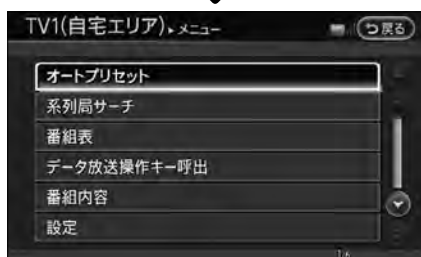
②選局チャンネル
現在受信中のチャンネルが表示されます。

③メッセージ消
放送メッセージ受信完了後にB-CASカードを抜くと、このスイッチが表示されます。確認した後はこのスイッチで消去することができます。
（緊急メッセージなど、消去できないメッセージでは表示されません）

④メニュー
テレビ番組を見るためのメニューと設定メニューを表示します。

⑤受信感度バー
受信状態を表示します。
アンテナ3本：強い→アンテナ1本：弱い
アンテナ0本：受信できません。

⑥チャンネルリスト
プリセットリストに登録されたチャンネルが表示されます。
放送局名がない場合は、物理チャンネル番号を表示します。

メニュー画面を表示させる

① テレビ操作画面の メニュー にタッチする。

メニュー画面が表示されます。

☆ メニュー画面は、以下の操作をすることができます。

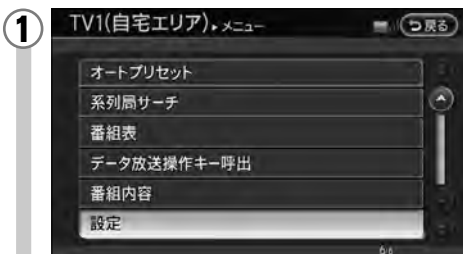
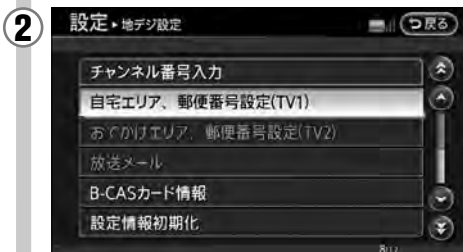
オートプリセット	現在地付近の放送局を自動登録します。 オートプリセット.......G-98
系列局サーチ	走行エリア付近の放送局の系列局を自動的にサーチします。 系列局をサーチする.......G-99
番組表	番組表を表示します。 番組表を表示する.......G-101
データ放送操作キー呼出	データ放送を見るための操作キーを表示します。 データ放送を見る.......G-105
番組内容	番組の詳しい内容を表示します。 番組の詳しい内容を見る.......G-104
設定	受信チャンネルやメールの設定また音声、画質などの設定をします。 受信チャンネルを設定する（自宅エリア）.......G-95 受信チャンネルを設定する（おでかけエリア）.......G-96 各種機能の設定をする.......G-107

受信チャンネルを設定する（自宅エリア）

地上デジタル放送を受信するためのチャンネル設定をします。
受信チャンネルの設定には「自宅エリア」と「おでかけエリア」の2種類があります。

- 車が自宅周辺にあるときは「自宅エリア」でチャンネルの設定を行ってください。
- 旅行などのおでかけ先で使用するときは、「自宅エリア」とは別に「おでかけエリア」でおでかけ先のチャンネル設定をしてください。

受信チャンネルを設定する（おでかけエリア）...............G-96

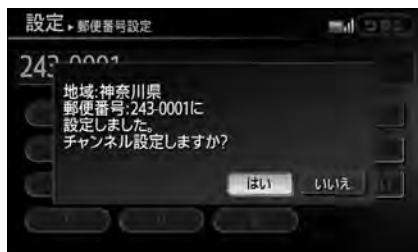
1
G-94ページ、メニュー画面の 設定 にタッチする。

2
スクロールして、自宅エリア、郵便番号設定（TV1） にタッチする。

3
自宅の地域にタッチする。

郵便番号を入力し、**決定** にタッチします。

知識

設定した郵便番号は、データ放送の地域情報の取得に使用されます。

4

はい にタッチする。

オートプリセット(自動選局)を開始します。
終了すると、メッセージが表示されます。

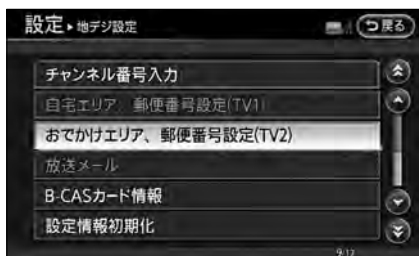
引っ越しなどで受信地域が変わったときは、「自宅エリア」の再設定を行ってください。

受信チャンネルを設定する(おでかけエリア)

旅行など、おでかけ先でテレビを見るための受信チャンネルの設定です。

1

G-94ページ、メニュー画面の 設定 にタッチする。

2

スクロールして、[おでかけエリア、郵便番号設定(TV2)]にタッチする。

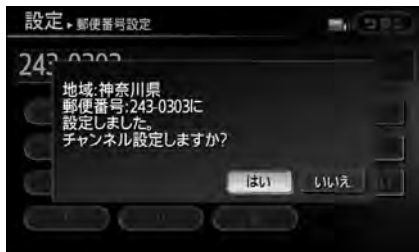
3

おでかけ先の地域にタッチする。

↓

郵便番号を入力し、[決定] にタッチします。

設定した郵便番号は、データ放送の地域情報の取得に使用されます。

4

[はい]にタッチする。

オートプリセット(自動選局)を開始します。
終了すると、メッセージが表示されます。

新たに「おでかけエリア」を設定すると、それまでの「おでかけエリア」の設定は全て消去されます。

1セグと地上デジタル放送（12セグ）を切り替える

地上デジタル放送（12セグ）の受信状況に応じて、1セグ放送と地上デジタル放送（12セグ）を自動的に切り替える設定をします。
「自動」に設定すると地上デジタル放送（12セグ）番組を視聴中に、受信状況が悪化したときには、自動的に1セグの番組に切り換え、地上デジタル放送（12セグ）が受信できるようになれば、自動的に地上デジタル放送（12セグ）の番組に切り換えます。
放送局によっては、1セグ放送と地上デジタル放送（12セグ）とで番組が異なる場合があります。

1. **G-94ページ、メニュー画面の 設定 にタッチする。**

2.

   1セグ／地デジ切替 にタッチする。

   ◀ または ▶ にタッチして、設定したい項目を選択する。

   自動：受信状況に応じて自動的に切り換わります。
   地デジ固定：地上デジタル放送（12セグ）に固定されます。
   1セグ固定：1セグ放送に固定されます。

オートプリセット

現在地付近で電波の強い放送局を順に登録します。TV1、TV2に12局ずつ、最大24局まで自動的に登録されます。

1.

   G-94ページ、メニュー画面の オートプリセット にタッチする。

②

メッセージ後、TV画面に戻ります。

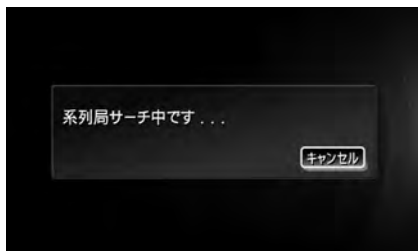
知識

おでかけエリア（TV2）が設定されている場合には、以下の画面が表示されます。

系列局をサーチする

受信している放送局のエリア圏外に入ったときなどに、走行エリア付近の系列局を探します。

①

G-94ページ、メニュー画面の 系列局サーチ にタッチする。

系列局を探します。

- 約3分間サーチしても放送局が見つからない場合は、元のチャンネルに戻ります。

地上デジタルテレビを見る

ご注意

B-CASカードを挿入しないと、地上デジタル放送(12セグ)の受信ができません。

■チャンネルを選ぶ

①

見たいチャンネルリストにタッチする。

チャンネルリストを1つずつ送ります。またはページを送ります。

知識

- 1つのチャンネルで複数の番組を同時に放送している場合は、チャンネルリストに SUB (SUBアイコン)が表示されます。
  SUBアイコンが表示されたチャンネルリストにタッチするごとに、同じチャンネル内の複数番組を切り替えることができます。
- **チャンネルリストを登録するには**
  登録したいチャンネルリストを「ピッ」と音がするまでタッチすると、視聴しているチャンネルを登録することができます。
- 操作パネルの ⏮ または ⏭ スイッチを押しても、同様に選局することができます。
  短押しすると、受信状態がよい3桁チャンネルを自動的に選局します。(あらかじめチャンネルリストに登録されているチャンネルのみ選局することができます。)
  長押しすると、受信状態がよい13chから62chまでの全ての物理チャンネルを自動的に選局します。
  用語解説......... G-117
- 番組表を表示して番組を選ぶこともできます。
  番組表から現在放送中のテレビ番組を見る......... G-103

受信している放送局のエリア圏外に出たとき

メニュー画面から 系列局サーチ にタッチすると、同じ放送局で走行エリア内の系列局を自動的にサーチします。

- 3分間サーチしても受信可能な系列局が見つからない場合は、元の放送局に戻ります。

系列局をサーチする.............. G-99

電波の受信状態が悪いとき

自動で１セグに切り換わります。
自動で切り換えたくないときは、1セグ/地デジ切替で設定を1セグ固定または地デジ固定にしてください。

１セグと地上デジタル放送（12セグ）を切り替える.......G-98

■緊急警報放送について

●緊急警報放送（EWS）とは…

大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。
本機能は、地上デジタル放送視聴時のみの機能です。

●緊急警報放送（EWS）受信時の動作

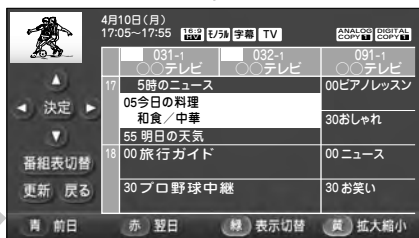
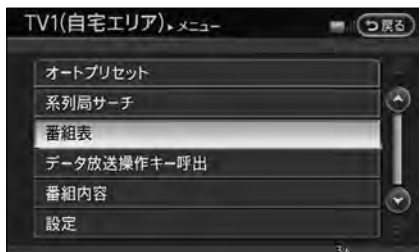
- 視聴中の放送局で緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送のチャンネルに切り換わります。
- 緊急警報放送終了後、90秒で自動的に元のチャンネルに戻ります。

番組表を表示する

画面上に番組表を一覧表示します。
（地上デジタル放送は最大４日分、１セグは最大10番組）

- 番組表から今、放送中の番組の選局ができます。
- 地上デジタルの番組情報は地上デジタル放送と一緒に送られています。

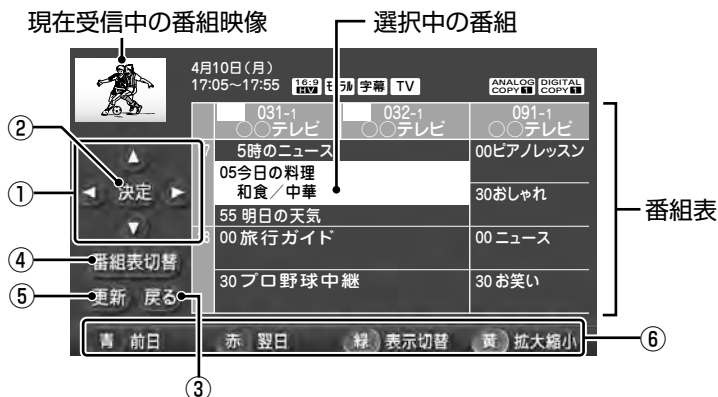
① テレビ操作画面のメニューにタッチする。

② 番組表にタッチする。

番組表が表示されます。

知識

電源を入れた直後は番組表が表示されるまでに約1分程度かかる場合があります。

＜番組表＞

①▲▼◀▶キー
カーソルを上下左右に移動します。

②［決定］
選択した項目を決定します。

③［戻る］
前画面に戻ります。

④［番組表切替］
1セグと地上デジタル放送の番組表を切り替えます。
（1セグ／地デジ切替が自動に設定されている場合のみ、切替操作できます。）

⑤［更新］
番組表を更新します。

⑥［青］
前日の番組表を表示します。

［赤］
翌日の番組表を表示します。

［緑］
全ての番組表表示と主要な番組表表示とを切り替えます。

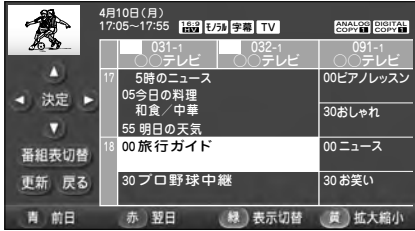
［黄］
番組表を拡大または縮小します。（4段階）

知識

地上デジタル放送の番組表について

受信可能な放送局で番組情報が表示されない場合は、その局を選んで、［決定］にタッチすると表示されます。（数分かかることがあります）

■番組表から現在放送中のテレビ番組を見る

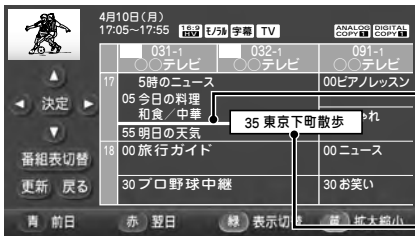
①

▲▼◀▶にタッチして、見たい番組を選ぶ。

選んでいる番組が白色で表示され、決定にタッチすると、選択した番組に切り替わります。

■省略されている番組(間引き番組)を表示させる

HC509D-W **HC509D-A**

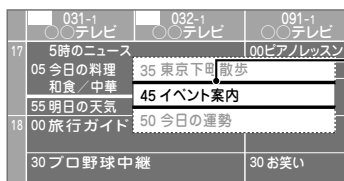
省略されている番組(間引き番組)を番組表の前面にポップアップ表示させることができます。

①

▲▼にタッチして、カーソルを番組が省略されていることを示す青い横線(間引き線)に移動させる。

間引き線

間引き番組がポップアップで表示されます。

間引き番組が複数ある場合

ポップアップ表示の上下に太い横線で強調表示されます。

上に横線があるときは、間引き番組が前にあることを示します。

下に横線があるときは、間引き番組が後にあることを示します。

上下に横線があるときは、間引き番組が前後にあることを示します。

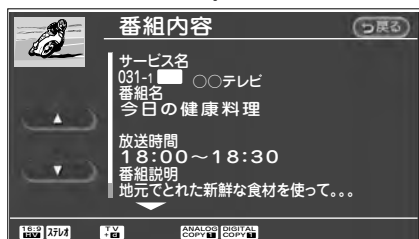
番組の詳しい内容を見る

放送中の番組の詳しい内容を見ることができます。

① **テレビ操作画面の メニュー にタッチする。**

現在受信中のチャンネル

② **番組内容 にタッチする。**

1セグ受信中は選択できません。

番組内容画面が表示されます。

▲ : 上方向に表示をスクロールします。

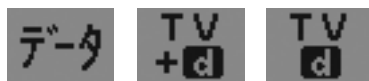
▼ : 下方向に表示をスクロールします。

データ放送を見る

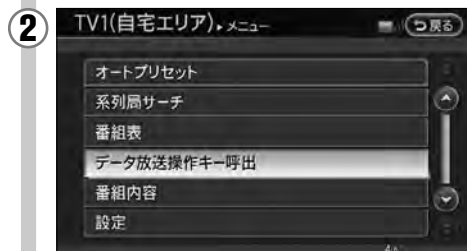
データ放送のある番組からはいろいろな情報を見ることができます。

- 双方向データサービスには対応しておりません。
- 1セグのデータ放送には対応しておりません。

■見ている番組がデータ放送のある番組か確認する

右記のアイコンが表示された番組はデータ放送があります。(アイコンが表示されない番組もあります。)

■データ放送の画面を表示させる

1. テレビ操作画面の メニュー にタッチする。

2.

データ放送操作キー呼出 にタッチする。

3.

d にタッチする。

データ放送に切り替わります。
(チャンネル切り替え直後はデータ放送に切り替わらない場合があります。画面下に「データ取得中」のメッセージが表示されたら、もう一度 d にタッチしてください。)

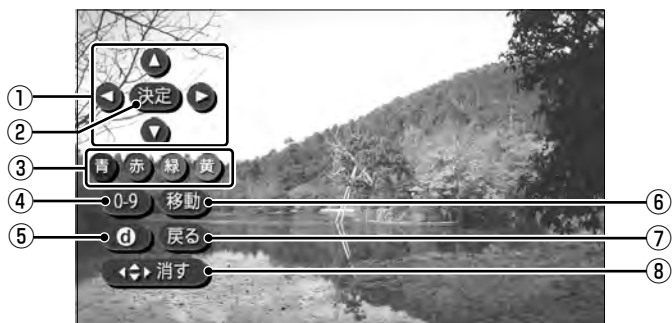
終了 : 通常のデジタル放送に戻ります。

情報量が多いときは、表示に時間がかかります。

[◀▲▼▶]にタッチする。

データ放送操作画面が表示されます。

＜データ放送操作画面＞

①▲▼◀▶キー

カーソルを上下左右に移動します。

②[決定]

選択した項目を決定します。

③[青]、[赤]、[緑]、[黄]

データ放送のコンテンツに依存した動作をします。

④[0-9]

10キー入力の操作キーが表示されます。

⑤[d]

データ放送を終了します。

⑥[移動]

操作キーの表示位置を左右に移動させます。

⑦[戻る]

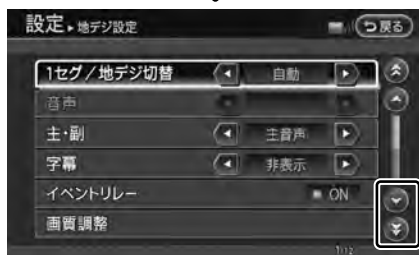
データ放送のコンテンツに依存します。

⑧[◀▲▼▶消す]

操作キーを元の表示に戻します。

各種機能の設定をする

① テレビ操作画面の メニュー にタッチする。

② 設定 にタッチする。

地デジ設定画面が表示されます。

リストを下にスクロールして表示させてください。

☆以下の項目を設定することができます。

自宅エリア、郵便番号設定（TV1）、おでかけエリア、郵便番号設定（TV2）を除き、TV1、TV2とも共通の設定となります。

1セグ／地デジ切替	1セグと地上デジタル放送を自動的に切り替えます。 1セグと地上デジタル放送（12セグ）を切り替える G-98
音声	日本語／英語など言語を切り替えます。 音声と字幕を設定する G-108
主・副	主音声と副音声を切り替えます。 音声と字幕を設定する G-108
字幕	字幕言語を切り替えます。 音声と字幕を設定する G-108
イベントリレー	視聴している番組のイベントリレーを設定します。 イベントリレー G-109
画質調整	画面の明るさやコントラストなど、画質の調整をします。 画質の調整をする G-109

チャンネル番号入力	3桁チャンネル番号を入力して、選局できます。 3桁チャンネル番号を入力して選局する G-110
自宅エリア、郵便番号設定（TV1）	自宅周辺の受信チャンネルを設定します。 受信チャンネルを設定する（自宅エリア） G-95
おでかけエリア、郵便番号設定（TV2）	旅行先など、おでかけになる地域の受信チャンネルを設定します。 受信チャンネルを設定する（おでかけエリア） G-96
放送メール	放送局からのお知らせや情報を見ることができます。 放送メールを見る G-110
B-CASカード情報	B-CASカードの情報を見ることができます。 B-CASカードの情報を見る G-111
設定情報初期化	設定した情報を消去し、設定を初期設定の状態に戻します。 設定情報を初期化する G-112

設定した郵便番号は、データ放送の地域情報の取得に使用されます。

■音声と字幕を設定する

「音声」、「字幕」などの設定をします。

1

◀ または ▶ にタッチして、設定したい項目を選択する。

音声	日本語／英語／その他の対応言語に音声を切り替えます。
主・副	主・副／主音声／副音声を切り替えます。
字幕	非表示／第一言語／第二言語から字幕を切り替えます。

■イベントリレー

同じ番組内容でチャンネルが別のチャンネルへ移行する場合、チャンネルを移行先のチャンネルへ自動で切り替え、番組の視聴を継続できます。

1

イベントリレー にタッチする。

● ON が点灯し、イベントリレーが設定されます。

■画質の調整をする

1

↓

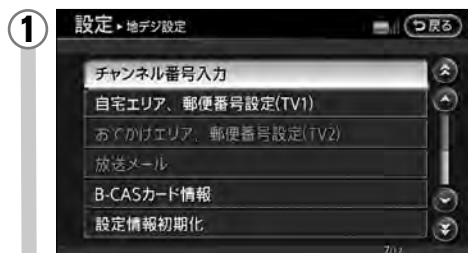
画質調整 にタッチする。

☆ 以下の画質調整をすることができます。

画面消し	画面表示のON/OFFを切り替えます。
明るさ	画面の明るさを調整します。
コントラスト	画面のコントラストを調整します。
黒レベル	画面の黒レベルを調整します。

■3桁チャンネル番号を入力して選局する

3桁チャンネル番号を入力して、放送局を選局します。

1

チャンネル番号入力 にタッチする。

入力画面が表示されます。

2

3桁チャンネル番号を入力し、決定 にタッチする。

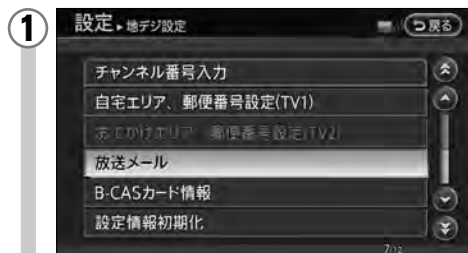
入力した放送局を受信します。

知識

- あらかじめ登録されているチャンネルのみ選局することができます。
- 1セグ/地デジ切替設定が1セグ固定または地デジ固定の場合は、それぞれに該当する3桁チャンネルを入力してください。

■放送メールを見る

放送局や本機からのメールでお知らせや情報を見ることができます。

1

放送メール にタッチする。

2 **リストから読みたいメールを選び、決定 にタッチする。**

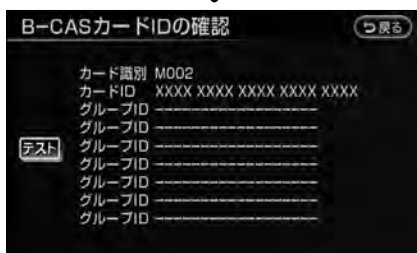
知識

- 放送局からのメールは、8通まで保存することができます。
- リストが多いときは、⏫ または ⏬ にタッチしてページを送ります。
- 新しいメールを受信すると、未読、既読関係なく古いメールから削除されます。

■B-CASカードの情報を見る

B-CASカードのナンバーなど、情報を見ることができます。またB-CASカードのテストを行うこともできます。

①

B-CASカード情報 にタッチする。

B-CASカードの情報が表示されます。

B-CASカードのテストをするには

テスト にタッチする。

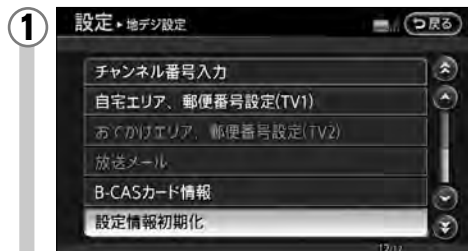
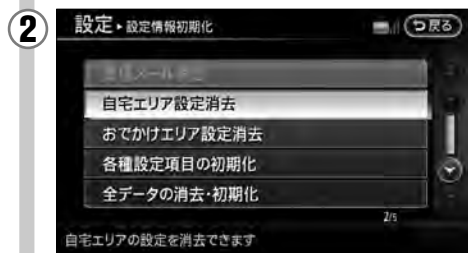
テストの結果が表示されます。

カードナンバーが表示されない場合は、B-CASカードの挿入状態を確認してください。

B-CASカードを挿入する G-90

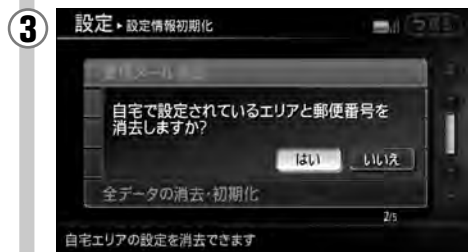
■設定情報を初期化する

地上デジタルテレビに関する設定情報を消去し、初期設定の状態に戻します。

①
設定情報初期化 にタッチする。

②
消去したい項目を選ぶ。

初期化中は他の操作は受け付けません。

☆ 以下の項目を消去することができます。

受信メール消去	放送メールを消去します。
自宅エリア設定消去	自宅エリア、郵便番号の設定を消去します。
おでかけエリア設定消去	おでかけエリア、郵便番号の設定を消去します。
各種設定項目の初期化	音声、字幕などの各種設定を消去します。
全データの消去・初期化	全データを消去します。

③
メッセージを確認して、はい にタッチする。

地上デジタル放送チャンネル一覧表（地域名を用いた設定）

● 受信チャンネル設定で選択された地域（お住まいの地域）の放送局とチャンネル番号の組み合わせは、下表のようになります。他地域（旅行などのおでかけ先）の放送を受信されたときは、下表のようにならない場合があります。

● 割り当てられた放送が実際に開始される時期は地域により異なります。また放送の開始時は地上アナログ放送との混信を避けるために、非常に小さい出力で放送されるため受信できるエリアが限定されます。

お住まいの地域	チャンネル番号	放送局名
北海道（札幌）	1	HBC札幌
	2	NHK教育・札幌
	3	NHK総合・札幌
	5	STV札幌
	6	HTB札幌
	7	TVH札幌
	8	UHB札幌
北海道（函館）	1	HBC函館
	2	NHK教育・函館
	3	NHK総合・函館
	5	STV函館
	6	HTB函館
	7	TVH函館
	8	UHB函館
北海道（旭川）	1	HBC旭川
	2	NHK教育・旭川
	3	NHK総合・旭川
	5	STV旭川
	6	HTB旭川
	7	TVH旭川
	8	UHB旭川
北海道（帯広）	1	HBC帯広
	2	NHK教育・帯広
	3	NHK総合・帯広
	5	STV帯広
	6	HTB帯広
	7	TVH帯広
	8	UHB帯広
北海道（釧路）	1	HBC釧路
	2	NHK教育・釧路
	3	NHK総合・釧路
	5	STV釧路
	6	HTB釧路
	7	TVH釧路
	8	UHB釧路
北海道（北見）	1	HBC北見
	2	NHK教育・北見
	3	NHK総合・北見
	5	STV北見
	6	HTB北見
	7	TVH北見
	8	UHB北見
北海道（室蘭）	1	HBC室蘭
	2	NHK教育・室蘭
	3	NHK総合・室蘭
	5	STV室蘭
	6	HTB室蘭
	7	TVH室蘭
	8	UHB室蘭

お住まいの地域	チャンネル番号	放送局名
北海道（小樽）	1	HBC小樽
	2	NHK教育・小樽
	3	NHK総合・小樽
	5	STV小樽
	6	HTB小樽
	7	TVH小樽
	8	UHB小樽
北海道（苫小牧）	1	HBC苫小牧
	2	NHK教育・苫小牧
	3	NHK総合・苫小牧
	5	STV苫小牧
	6	HTB苫小牧
	7	TVH苫小牧
	8	UHB苫小牧
宮城	1	TBCテレビ
	2	NHK教育・仙台
	3	NHK総合・仙台
	4	ミヤギテレビ
	5	KHB東日本放送
	8	仙台放送
秋田	1	NHK総合・秋田
	2	NHK教育・秋田
	4	ABS秋田放送
	5	AAB秋田朝日放送
	8	AKT秋田テレビ
山形	1	NHK総合・山形
	2	NHK教育・山形
	4	YBC山形放送
	5	YTS山形テレビ
	6	テレビユー山形
	8	さくらんぼテレビ
岩手	1	NHK総合・盛岡
	2	NHK教育・盛岡
	4	テレビ岩手
	5	岩手朝日テレビ
	6	IBCテレビ
	8	めんこいテレビ
福島	1	NHK総合・福島
	2	NHK教育・福島
	4	福島中央テレビ
	5	KFB福島放送
	6	テレビユー福島
	8	福島テレビ
青森	1	RAB青森放送
	2	NHK教育・青森
	3	NHK総合・青森
	5	青森朝日放送
	6	ATV青森テレビ

お住まいの地域	チャンネル番号	放送局名
東京	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビジョン
	9	東京MXテレビ
	12	放送大学
神奈川県	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	3	tvk
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビジョン
	12	放送大学
群馬	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	3	群馬テレビ
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビジョン
	12	放送大学
茨城	1	NHK総合・水戸
	2	NHK教育・東京
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビジョン
	12	放送大学
千葉	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	3	チバテレビ
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビジョン
	12	放送大学
栃木	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	3	とちぎテレビ
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビジョン
	12	放送大学

地上デジタルテレビ

お住まいの地域	チャンネル番号	放送局名
埼玉	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	3	テレ玉
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビジョン
	12	放送大学
長野	1	NHK総合・長野
	2	NHK教育・長野
	4	テレビ信州
	5	abn長野朝日放送
	6	SBC信越放送
	8	NBS長野放送
新潟	1	NHK総合・新潟
	2	NHK教育・新潟
	4	TeNYテレビ新潟
	5	新潟テレビ21
	6	BSN
	8	NTS
山梨	1	NHK総合・甲府
	2	NHK教育・甲府
	4	YBS山梨放送
	6	UTY
大阪	1	NHK総合・大阪
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	7	テレビ大阪
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
京都	1	NHK総合・京都
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	5	KBS京都
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
兵庫	1	NHK総合・神戸
	2	NHK教育・大阪
	3	サンテレビ
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
和歌山	1	NHK総合・和歌山
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	5	テレビ和歌山
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
奈良	1	NHK総合・奈良
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	9	奈良テレビ
	10	よみうりテレビ
滋賀	1	NHK総合・大津
	2	NHK教育・大阪
	3	BBCびわ湖放送
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ

お住まいの地域	チャンネル番号	放送局名
広島	1	NHK総合・広島
	2	NHK教育・広島
	3	RCCテレビ
	4	広島テレビ
	5	広島ホームテレビ
	8	TSS
岡山	1	NHK総合・岡山
	2	NHK教育・岡山
	4	RNC西日本テレビ
	5	KSB瀬戸内海放送
	6	RSKテレビ
	7	テレビせとうち
	8	OHKテレビ
香川	1	NHK総合・高松
	2	NHK教育・高松
	4	RNC西日本テレビ
	5	KSB瀬戸内海放送
	6	RSKテレビ
	7	テレビせとうち
	8	OHKテレビ
島根	1	日本海テレビ
	2	NHK教育・松江
	3	NHK総合・松江
	8	山陰中央テレビ
	6	BSSテレビ
鳥取	1	日本海テレビ
	2	NHK教育・鳥取
	3	NHK総合・鳥取
	6	BSSテレビ
	8	山陰中央テレビ
山口	1	NHK総合・山口
	2	NHK教育・山口
	3	tysテレビ山口
	4	KRY山口放送
	5	yab山口朝日
愛知	1	東海テレビ
	2	NHK教育・名古屋
	3	NHK総合・名古屋
	4	中京テレビ
	5	CBC
	6	メ～テレ
	10	テレビ愛知
三重	1	東海テレビ
	2	NHK教育・名古屋
	3	NHK総合・津
	4	中京テレビ
	5	CBC
	6	メ～テレ
	7	三重テレビ
岐阜	1	東海テレビ
	2	NHK教育・名古屋
	3	NHK総合・岐阜
	4	中京テレビ
	5	CBC
	6	メ～テレ
	8	岐阜テレビ
石川	1	NHK総合・金沢
	2	NHK教育・金沢
	4	テレビ金沢
	5	北陸朝日放送
	6	MRO
	8	石川テレビ
静岡	1	NHK総合・静岡
	2	NHK教育・静岡
	4	静岡第一テレビ
	5	静岡朝日テレビ
	6	SBS
	8	テレビ静岡

お住まいの地域	チャンネル番号	放送局名
福井	1	NHK総合・福井
	2	NHK教育・福井
	7	FBCテレビ
	8	福井テレビ
富山	1	KNB北日本放送
	2	NHK教育・富山
	3	NHK総合・富山
	6	チューリップテレビ
	8	BBT富山テレビ
愛媛	1	NHK総合・松山
	2	NHK教育・松山
	4	南海放送
	5	愛媛朝日
	6	あいテレビ
	8	テレビ愛媛
徳島	1	四国放送
	2	NHK教育・徳島
	3	NHK総合・徳島
高知	1	NHK総合・高知
	2	NHK教育・高知
	4	高知放送
	6	テレビ高知
	8	さんさんテレビ
福岡	1	KBC九州朝日放送
	2	NHK教育・福岡
	2	NHK教育・北九州
	3	NHK総合・福岡
	3	NHK総合・北九州
	4	RKB毎日放送
	5	FBS福岡放送
	7	TVQ九州放送
	8	TNCテレビ西日本
熊本	1	NHK総合・熊本
	2	NHK教育・熊本
	3	RKK熊本放送
	4	KKTくまもと県民
	5	KAB熊本朝日放送
	8	TKUテレビ熊本
長崎	1	NHK総合・長崎
	2	NHK教育・長崎
	3	NBC長崎放送
	4	NIB長崎国際テレビ
	5	NCC長崎文化放送
	8	KTNテレビ長崎
鹿児島	1	MBC南日本放送
	2	NHK教育・鹿児島
	3	NHK総合・鹿児島
	4	KYT鹿児島讀賣
	5	KKB鹿児島放送
	8	TVKTS鹿児島テレビ
宮崎	1	NHK総合・宮崎
	2	NHK教育・宮崎
	3	UMKテレビ宮崎
	6	MRT宮崎放送
大分	1	NHK総合・大分
	2	NHK教育・大分
	3	OBS大分放送
	4	TOSテレビ大分
	5	OAB大分朝日放送
佐賀	1	NHK総合・佐賀
	2	NHK教育・佐賀
	3	STSサガテレビ
沖縄	1	NHK総合・那覇
	2	NHK教育・那覇
	3	RBCテレビ
	5	OAB琉球朝日テレビ
	8	OTV沖縄テレビ

（2009年2月現在）

アイコン一覧

- 本機はアイコン（機能表示のシンボルマーク）によって、表示画面の情報をお知らせします。
  アイコンは番組内容の表示であり、「デジタル1COPY」など本機の機能と関連のないものもあります。
- 放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

■番組内容画面

アイコン	説明	アイコン	説明
TV	テレビ放送（映像＋音声）の番組。	データ	データ放送の番組。
1 SEG	1セグ放送の番組。	地 DIGITAL	地上デジタル放送の番組。
TV +d	番組内容に関連したデータ放送を行っている番組。	TV d	番組とは別のデータ放送を行っている番組。
モノラル	モノラル音声の番組。	2カ国	2カ国語放送の番組。
ステレオ	ステレオ放送の番組。	DIGITAL 出力✕	デジタル出力してない番組。
字幕	番組の中に字幕（日本語／英語）の情報が含まれている番組。	DIGITAL COPY✕	デジタルコピーガードが、かかっている番組。（デジタルで録画できません）
ANALOG 出力✕	アナログ出力していない番組。	臨時	臨時放送時に表示されます。
ANALOG COPY✕	アナログコピーガードが、かかっている番組。（アナログで録画できません）	DIGITAL COPY 1	1回のみデジタルコピーが可能な番組。（録画後、ダビングできません）
16:9 HV	ワイド画面のハイビジョン放送の番組。	4:3 HV	ノーマル画面のハイビジョン放送の番組。
16:9 SD	ワイド画面の通常放送の番組。	4:3 SD	ノーマル画面の通常放送の番組。
AUTO	1セグ/地デジ切替の設定が自動の場合に表示されます。	EWS	緊急警報放送（EWS）時に表示されます。

メッセージ表示一覧

本機では、メールで送られてくる情報とは別に、状況に合わせてメッセージが表示されます。

●主なメッセージとその内容は下記のとおりです。

メッセージ	内容
信号レベルが低下しているため、このチャンネルは受信できません。	デジタル放送の受信レベルが低い場合に表示されます。
このチャンネルは受信できません。	デジタル放送の電波を受信できていない場合に表示されます。
このチャンネルは現在放送されていません。	放送時間が終了しています。番組表などでチャンネルをお確かめください。
B-CASカードが読み取れません。	B-CASカードの挿入方向の間違い、または使用できないカードが挿入されています。本機付属のB-CASカードを正しく挿入してください。 B-CASカードを挿入する........G-90
B-CASカードを入れてください。	B-CASカードが入っていないか、正しく挿入されていません。 本機付属のB-CASカードを正しく挿入してください。
データ取得中です。	データ取得中の表示です。故障ではありません。

用語解説

（株）B-CAS	BSデジタル放送の限定受信システム（CAS）を管理するために設立された(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。B-CASカードの発行・管理をしています。110度CSデジタル放送、地上デジタル放送も同じシステムを使用しています。
データ放送	お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることができます。例えばお客様のお住まいの地域の天気予報を、いつでも好きなときに表示させることできます。また、テレビ放送に連動したデータ放送もあります。
3桁チャンネルと物理チャンネル	●３桁チャンネル 地上アナログ放送では、１つのチャンネルで１つの番組を放送しており、チャンネル番号はその放送局に対応してします。地上デジタル放送では１つのチャンネルで複数の番組を同時に放送できるため編成チャンネルと呼ばれる３桁のチャンネルが設定されています。 ３桁のうち最初の２桁は放送局を示すチャンネル（リモコンチャンネル）、最後の１桁はその放送局の中でのチャンネルを示す代表チャンネルとなっています。 ●物理チャンネル 物理チャンネルとは、実際に受信する周波数を表すチャンネル番号のことです。地上デジタル放送では、従来のアナログ放送とは異なり実際に受信する周波数を送信しているチャンネル（物理チャンネル）と放送局を示すチャンネル（リモコンチャンネル）が異なります。

＜東京のチャンネル例＞

放送局	リモコンチャンネル	3桁チャンネル	物理チャンネル
NHK総合	1	011	27
NHK教育	2	021	26
日本テレビ	4	041	25
TBS	6	061	22
フジテレビジョン	8	081	21
テレビ朝日	5	051	24
テレビ東京	7	071	23
東京MXテレビ	9	091	20
放送大学	12	121	28

AUX（外部機器）<オプション>

⚠注 意

安全のため、走行中ビデオは映りません。車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ、ご覧になることができます。それ以外では走行中と判断し、[画像は停止中にお楽しみください］と表示され、音声のみとなります。

AUX画面にする

ビデオやゲーム機などの外部機器を接続できます。

■AUX機器を接続する

1. AUX機器の電源をOFFにする。
2. 市販の接続ケーブル（RCAピンジャック）を、映像入力端子と音声入力端子に接続する。
3. AUX機器の電源をONにする。

■AUX画面を表示させる

1. HC509D-W HC509D-A

   AVスイッチを押し、AVメニューを表示させる。
   AUX にタッチする。

   HC309D-W HC309D-A

   TV・AUX（TV）スイッチを押す。
   押すごとに、TV1→TV2→AUXと切り替わります。

②

AUX操作画面が表示される。

■AUX操作画面の見かた

① AUX表示
AUX画面のときに表示されます。

② 画面設定
現在の画面設定が表示されます。

③ メニュー
画面や画質の設定をします。

■テレビ画面に戻す

テレビ画面に戻すときは、HC509D-W HC509D-A は AV スイッチ、HC309D-W HC309D-A は TV・AUX （ TV ）スイッチを押します。

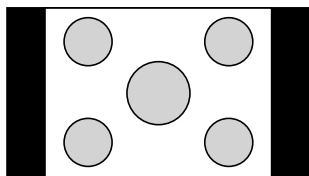
画面や音声の設定をする

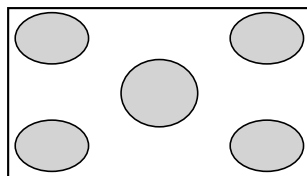
① AUX操作画面の メニュー にタッチする。

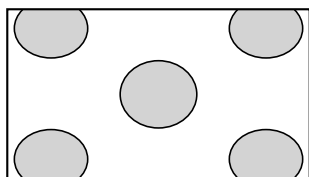
② 設定したい項目を選ぶ。

画面設定	画面サイズをノーマル、ワイド、シネマから設定します。
ゲイン設定	出力の感度をLo、Mid、Hiから設定します。
画質調整	明るさ、コントラストなどの調整ができます。

■画面サイズ

ノーマル

通常の4：3の画面
（画面左右は映りません）

ワイド

ノーマル画面を16：9に引き伸ばした画面

シネマ

映画などの映像の上下が切れた画面

知識

営利目的または、公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上、保護権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。なお、お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありません。

DVD

本機では、DVD（VIDEO-CD）ディスクのほか、DivX® フォーマットで作成されたディスクを再生することができます。

⚠注 意

安全のため、走行中DVD画面は映りません。車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ、ご覧になることができます。それ以外では走行中と判断し、「画像は停車中にお楽しみください」と表示され、音声のみとなります。

必ずお読みください

● DVDディスクによってはディスク制作者の意図により、お客様の操作に対して各種操作を受け付けないディスクや、お客様の操作意図と違う動作をするディスクがあります。

● 操作した動作が禁止されている場合は、「！現在その操作ができません」と画面に表示されます（ディスクによっては表示されない場合もあります）。

再生できるディスクについて

● DVD-R、DVD-RW、DVD＋R、DVD＋RW、DVD-R DL、DVD+R DLはディスク状態や記録状態によっては再生できない場合があります。DVD＋R、DVD+R DLは、記録状態によってはレイヤー（1層/2層）の切り替え時に映像や音声がとぎれる場合があります。DVD-RAMは再生できません。

● DVD±R、DVD±RWはビデオレコーディング（VR）モードで記録されたディスクを使用できます。

● DivXは、拡張子がaviまたはdivxのファイルのみ再生することができます。

● DivXは、「DivX3、DivX4、DivX5、DivX6（Ultraは除く）」のバージョンに対応しています。

● MPEG4は、ASF形式のみ再生することができます。（拡張子はasfまたはavi）

● CD-R、CD-RWはDVDビデオ方式で記録したもののみ再生できます。また、CD-R、CD-RWは記録面の反射率が低いため、データを読み出せない場合があります。

■再生できるディスクの種類

ディスクの種類					記録内容	再生時間 /記憶容量
DVD (フォーラム規格)	DVD-VIDEO	DVD VIDEO	12cm	片面1層	音声+ 映像(動画)	約2時間 /4.7GB
				片面2層		約4時間 /8.5GB
				両面1層		約4.5時間 /9.4GB
				両面 ミックス		約6.5時間 /13.24GB
				両面2層		約8時間 /17GB
			8cm	片面1層		約30分 /1.4GB
				片面2層		約1.3時間 /2.7GB
				両面1層		約1.4時間 /2.9GB
				両面2層		約2.5時間 /5.3GB
	DVD-AUDIO HC509D-W HC509D-A	DVD AUDIO	—		音声+ 映像(動画)	—
DivX MPEG4 HC509D-W HC509D-A			—		音声+ 映像(動画)	—
CD	VIDEO-CD	VIDEO CD	12cm		音声+ 映像(動画)	約60分 /650MB
	CD-R	COMPACT disc	—			650MB
	CD-RW					700MB

知識

- 本機では、映像信号がNTSC方式およびPAL方式で記録されたディスクを再生することができます。
- CD-R、CD-RWは再生できない場合があります。
- 違法コピーを検出した際は再生を行いません。市販のDVDビデオやテレビ放送を正しい方式で記録することのできないPCソフトなどで記録した場合、違法コピーと検出する場合があります。

■リージョンコードについて

リージョンコードとは

リージョンコードとは、映画の配給権保護や海賊版の防止を目的として作られた、地域別の再生管理コードのことです。DVDプレーヤーとDVDディスクにそれぞれ、地域別のコードを記録することで、プレーヤー側とディスク側のリージョンコードが合致しなければ、再生が行われない仕組みになっています。

※DVDソフトの中には、複数のリージョンコードを持つもの（例えば、[1]と[2]）や、全地域で再生可能なもの（[ALL]）があります。

リージョンコードの地域

リージョンコードは全世界で、6つのエリアに分けられています。日本の地域コードは、欧州や南アフリカ共和国と同じ2番が割り当てられています。本DVDプレーヤーで再生可能なリージョンコードは、[2] [ALL] [2を含むもの] の製品です。

例）
※番号は地域ごとに違います。

■著作権および商標について

- 本機は、マクロビジョンコーポレーションおよびその他の権利者が保有する、米国特許権およびその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を採用しています。
- この著作権保護技術はマクロビジョンコーポレーションの許可なく使用できません。また、同社の特別な許可がない限り、一般家庭その他における限られた視聴用だけに使用されるようになっています。
- 改造、または分解は禁止されています。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビー、MLP losslessおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

  ※MLPについては、
  G-140ページ、DVD操作画面の見かた「③ディスクの音声フォーマット（記録形式）の種類」、L-24ページ、音声フォーマット「MLP」をご参照ください。

- DivX、DivX Certified、および関連するロゴは、DivX, Inc. の商標です。これらの商標は、DivX, Inc. の使用許諾を得て使用しています。

■DVD（DVD-VIDEO）ソフトの仕様表記について

DVD-VIDEOのレーベル面とパッケージには、下のような仕様（一般例）が記載されています。この一覧表により、DVD ソフトとプレーヤーの対応を確認することができます。

①ディスク品番

②収録時間

③ディスクの種類

再生できるディスクの種類 G-122

④カラー／モノクロ

⑤映像のフォーマット

⑥対応言語（音声）

音声...............................G-150

⑦対応言語（字幕）

字幕...............................G-150

⑧アスペクト比

画面の縦横比について G-126

⑨音声フォーマット

※DTSは再生されません。

音声フォーマットについて L-24

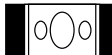
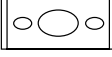
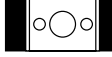
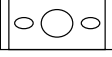
⑩リージョンコード番号

リージョンコードについて G-123

⑪アングル

アングル........................G-146

■パレンタルレベル（視聴制限）について

本DVDプレーヤーは視聴制限のかかったDVDディスクでも再生できます。
再生するDVDディスクの視聴レベルは、お客様のご判断によりお願いいたします。

■画面の縦横比について（アスペクト比）

●アスペクト比の種類

家庭用テレビのアスペクト比（画面の縦横比率）は、一般的な4:3（1.33:1）とワイドTV の16:9（1.78:1）の2 つの規格が存在します。また、DVD（DVD-VIDEO）側に記録されている映像も4:3フォーマットのものと16:9フォーマットのものがあります。
そこで、DVD（DVD-VIDEO）では、映像のアスペクト比（画面の縦横比率）を、モニター側のアスペクト比に合わせる処理が行われます。（16:9フォーマットの映像の左右をトリミングしたものを［パン＆スキャン］といいます。）
本機では、16：9フォーマットのソフトを利用するときは［フル］、4:3フォーマットのソフトを利用するときは、基本的にノーマルを選択してください。
また、お好みに合わせて［ワイド］、［シネマ］を選択することもできます。

モニターの種類 ／ DVDの映像出力方式	家庭用TV（4：3）	本機の表示方法（16：9）			
		フル	ノーマル	ワイド	シネマ
16：9フル		○〈推奨〉	※1	※2	※3
4：3フル	○〈推奨〉	※4	○〈推奨〉	※2	※3

※1　アスペクト比16:9の画面左右を、いったん4:3に圧縮して、左右に黒い帯を表示します。
※2　家庭用ワイドTVのように、画面の左右の幅を広げます。（周辺部の幅がより大きく広がります）
※3　画面の上下がトリミングされます。
※4　アスペクト比4：3の画面を、アスペクト比16：9に合わせて左右の幅を広げます。

再生する

本機にディスクを入れると自動的に再生が始まります。
「ディスクの入れかた/取り出しかた」は、G-4ページをご覧ください。

1 操作パネルを開き、ディスクをDVD/CD挿入口に入れる。

ディスクが読み込まれ、自動的に再生が始まります。

- 再生が始まると操作画面が表示されますが、数秒後に消えて通常の画面になります。

市販のDVDソフトによっては、本編再生の前に固有のメニューが表示される場合がありますので、メニューに従って再生してください。

DivX® のディスクを再生する HC509D-W HC509D-A

本機では、CD-R/RW、DVD-R/RWに記録されたDivXファイルを再生することができます。

ご注意

お客様が編集・収録されるDivXフォーマット映像に、

● **視聴回数制限がある場合**

- 本機で視聴可能にするには、事前にユーザーアカウントを取得し、本機を再生機器として登録することが必要です。

DivX機器の登録方法.......L-23を参照し、手順に従って登録してください。

- DVDなどに記録された視聴回数制限ファイルを再生中にUSBメモリに記録された視聴回数制限ファイルを再生しないでください。オーディオソースを切り替えた際に視聴回数がカウントされる場合があります。

● **視聴回数制限がない(フリーの)場合**

そのまま本機で視聴できます。

① ディスクをDVD/CD挿入口に入れる。

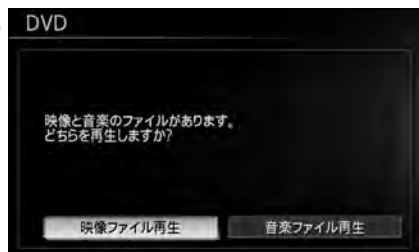
複数のファイルがある場合は（音楽コンテンツと映像コンテンツ）選択画面が表示されます。

ディスクの入れかた／取り出しかた G-4

②

DVD

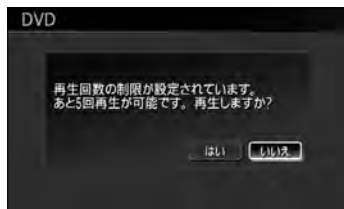
映像と音楽のファイルがあります。
どちらを再生しますか?

映像ファイル再生　音楽ファイル再生

再生したいファイルを選ぶ。

音楽コンテンツと映像コンテンツがどちらか１つのみの場合は、そのまま再生画面が表示されます。

DivXの操作画面が表示されます。

知識

視聴回数制限のあるファイルの場合には、最初に残りの使用回数を確認する画面が表示されます。メッセージを確認してご視聴ください。

●オーディオ操作画面については、G-129ページをご覧ください。

●映像操作画面については、G-132ページをご覧ください。

オーディオ操作画面の見かた HC509D-W HC509D-A

① 曲情報（アーティスト名/アルバム名/曲名）
テキスト情報が記録されている曲を再生しているときに表示されます。

② ジャケット写真表示
ジャケット写真がある場合、表示されます。表示させるには、ジャケット写真表示 を ON（点灯）にします。

ジャケット写真表示...... G-10

③ メニュー
映像ファイルリストへの切り替えや、プレイモードの選択をします。

④ リスト表示
フォルダリストや曲リストを表示します。

⑤ プレイモード
プレイモードを表示します。
（全リピートのときは表示されません。）

⑥ 再生時間
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

知識

- **DivXについて**
  DivXは、DivX,Inc.がMPEG-4をベースに開発した圧縮フォーマットです。高画質を維持しながら高い圧縮率でファイルを作成します。圧縮ファイルには、音声をはじめ、メニュー、字幕、サブオーディオトラックまで入れることができます。
  DivX.comでは、DivXファイルを掲載しています。これらのメディアをダウンロードして、DivXの専用ツールを使えば、オリジナルのコンテンツを作成できます。
- DivX、DivX Certified、および関連するロゴは、DivX,Inc.の商標です。これらの商標は、DivX,Inc.の使用許諾を得て使用しています。

■リストから選曲する

1. オーディオ操作画面の[リスト表示]にタッチする。

2.

フォルダリストまたは曲リストから選曲する。

フォルダが１つのみの場合は、フォルダリストは表示されません。ファイル選択画面が表示されます。

■映像ファイルに切り替える

オーディオ画面から、映像画面に切り替えます。

1. オーディオ操作画面の[メニュー]にタッチする。

2.

[映像ファイルリストへ]にタッチする。

映像画面に切り替わります。

3. 映像ファイルリストを選ぶ。

■プレイモードを切り替える

1. G-130ページ「映像ファイルに切り替える」手順②画面の プレイモード切替 にタッチする。

2. プレイモードを選ぶ。

☆ 以下のプレイモードを選べます。

全リピート	すべての曲を繰り返し再生します。
1フォルダリピート	1つのフォルダの全曲を繰り返し再生します。
1トラックリピート	1つの曲を繰り返し再生します。
1ディスクランダム	1枚のディスクの全曲をランダムに順番を変えて再生します。
1フォルダランダム	1つのフォルダの全曲をランダムに順番を変えて再生します。

映像操作画面の見かた HC509D-W HC509D-A

① **フォルダ/ファイル表示**
現在再生中のフォルダ/ファイル番号を表示します。

② **再生時間**
フォルダ/ファイルの始まってから現在までの時間を表示します。(ファイルの再生が始まってから現在までの時間を表示するファイルもあります。)

③ **ファイルの音声フォーマット(記録形式)の種類**
Dolby Digital、MPEG、LPCMなどの音声フォーマットを表示します。

④ **サウンドモード**
ファイルのサウンドモードを表示します。

⑤ **画面設定**
現在の画面設定を表示します。

⑥ **再生方法**
再生モードを表示します。

⑦ **操作メニュー**
再生、停止などの操作メニューを表示します。操作メニューは、ディスクによって異なります。

操作メニュー G-133

⑧ **設定**
各種機能の設定画面を表示します。

音声・画質などの設定をする G-134

⑨ **リスト表示**
ファイルリストを表示します。
また、音楽ファイルリストへ切り替えます。

■操作メニュー

▶ 再生／ ❚❚一時停止	フォルダまたはファイルを再生します。 フォルダまたはファイルが再生されているときは、再生を一時停止します。再度タッチすると再生を再開します。
■停止	再生を停止します。
▶▶❙ 早送り	次のフォルダまたはファイルへ進みます。長くタッチすると早送りします。
❙◀◀ 巻き戻し	1回タッチすると、フォルダまたはファイルの最初に戻ります。2回タッチすると、前のファイルへ戻ります。長くタッチすると早戻しします。

■映像ファイルを選ぶ

1 映像操作画面の リスト表示 にタッチする。

2

フォルダまたはファイルをリストから選ぶ。

フォルダが1つのみの場合は、フォルダリストは表示されません。

■音楽ファイルに切り替える

映像画面から、オーディオ画面に切り替えます。

1 映像操作画面の リスト表示 にタッチする。

2

音楽ファイルリストへ にタッチする。

オーディオ画面に切り替わります。

3 音楽ファイルリストを選ぶ。

映像操作画面 → 設定 からも切り替えることができます。

■音声・画質などの設定をする

1 映像操作画面の 設定 にタッチする。

設定画面が表示されます。

2 設定したい項目を選ぶ。

☆ 以下の項目が設定できます。

項目名	内　容	説明ページ
音楽ファイルリストへ	オーディオ画面に切り替わります。（音楽ファイルがある場合のみ表示されます。）	G-133
プレイモード切替	プレイモードを切り替えます。	G-151
10キーダイレクト入力	見たいフォルダ、ファイルを指定して再生することができます。	G-145
画質調整	明るさ、コントラストなどの画質調整ができます。	G-149
ダイナミックレンジコントロール	ダイナミック・レンジ・コントロール（DRC）機能のON/OFFを設定できます。	G-148
音声	ファイルに収録されている音声を切り替えることができます。	G-150
字幕	ファイルに収録されている字幕の言語を切り替えることができます。	G-150
画面設定	ワイド、フル、ノーマル、シネマから選びます。	G-151

DVDディスクを再生する

※操作画面はディスクを入れて再生が始まるといったん表示されますが、数秒後に消えます。

■画面にタッチして、操作画面を表示させる

① 再生中に画面にタッチする。

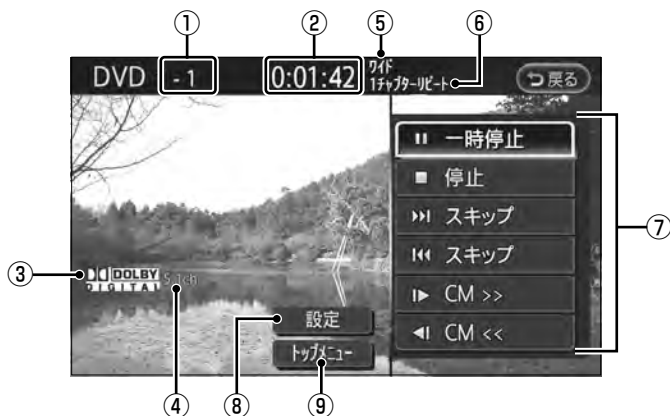
■スイッチを押して、操作画面を表示させる

① HC509D-W HC509D-A

AV スイッチを押し、AVメニューを表示させる。
CD/DVD にタッチする。

HC309D-W HC309D-A

DISC スイッチを押す。
押すごとに、オーディオモード（ソース）が切り替わります。
DVD画面が表示されるまで、押してください。

DVD操作画面の見かた

① タイトル/チャプター表示（DVD-VIDEO再生時）

グループ/トラック表示（DVD-AUDIO再生時）

トラック表示（VIDEO-CD再生時）

現在再生中のタイトル/チャプター/グループ/トラック番号を表示します。

② 再生時間

チャプター/トラックの始まってから現在までの時間を表示します（ディスクの再生が始まってから現在までの時間を表示するディスクもあります）。

③ ディスクの音声フォーマット（記録形式）の種類

Dolby Digital、MLP、MPEG、LPCMなどの音声フォーマットを表示します。

※DTSは再生されません。

④ サウンドモード

ディスクのサウンドモードを表示します。

⑤ 画面設定

現在の画面設定を表示します。

⑥ プレイモード

プレイモードを表示します。

⑦ 操作メニュー

再生、停止などの操作メニューを表示します。操作メニューは、ディスクによって異なります。

画面を操作する.......... G-137

⑧ 設定

各種機能の設定画面を表示します。

各種機能の設定をする G-141

⑨ トップメニュー

ソフト固有のメニューを表示します。

知識

- ソフトによっては、ソフト固有のメニュー画面が表示されることがあります。ソフト固有のメニューはタッチパネルで操作することができます。
- ソフトのメニュー画面上に操作画面が表示されることがあります。操作画面が消えてからメニューを操作してください。

■画面を操作する

停止／再生／一時停止をする

1

[■停止]にタッチする。

再生が停止します。

2

[▶再生]にタッチする。

停止したところから再生が始まります。

3

[II一時停止]にタッチする。

再生が一時停止します。

知識

- 停止中にもう一度 [■停止] にタッチすると、「レジュームキャンセルしました」というメッセージが表示されます。[▶再生] にタッチすると、ディスクの最初から再生します。
- 操作メニューは、再生中に [II一時停止] が表示され、一時停止中は [▶再生] が表示されます。

次のトラック／チャプターに進む

1

[▶▶|スキップ]にタッチする。

次のトラック／チャプターに進みます。

[▶▶|]スイッチを押しても次のトラック／チャプターに進むことができます。

現在のトラック／チャプターを最初から見る

1

[|◀◀スキップ]にタッチする。

現在のトラック／チャプターの最初に戻ります。

[|◀◀]スイッチを押しても現在のトラック／チャプターの最初に戻ることができます。

前のトラック／チャプターに戻る

1 **[|◀◀スキップ]にタッチする。**

2

再度 [|◀◀スキップ] にタッチする。

タッチした回数だけ、前のトラック／チャプターに戻ります。

[|◀◀]スイッチでも同様に前のトラック／チャプターに戻ることができます。

早送り／早戻しをする

1

▶▶|スキップ または |◀◀スキップ に長くタッチする。

タッチしている間、早送り、早戻しをします。

指を離すと、再生を始めます。

▶▶| または |◀◀ スイッチでも同様に早送り／早戻しができます。

静止画送り／静止画戻しをする

DVD-AUDIOのみの機能です。

1

|▶ 静止画送り または ◀| 静止画戻し にタッチする。

タッチした回数だけ、静止画送りまたは静止画戻しをします。

CM送り／CM戻しをする

再生中の映像を一定の秒数だけ早送り／早戻しすることができます。CMなどを飛ばしたいときに使います。

DVD-VIDEO、DVD-VRのみの機能です。

※DivXにこの機能はありません。

1

I▶CM >> または ◀I CM << にタッチする。

タッチするごとに設定した間隔で早送り／早戻しされます。

15秒、30秒、60秒から設定します。

CMスキップ............G-148

画面にメニューを表示させる

DVD-VIDEO、DVD-AUDIOのみの機能です。

1

トップメニュー にタッチする。

メニューが表示されます。

各種機能の設定をする

DVDプレーヤーには音声言語や字幕言語を切り替える機能や、字幕の有無を設定できる機能などがあります。

① 画面にタッチして、操作画面を表示させる。

....G-135

②

設定 にタッチする。

設定画面が表示されます。

③

設定したい項目を選ぶ。

☆ 以下の項目が設定できます。

項目名	内　容	ディスクの種類	説明ページ
操作キー呼出	画面にメニューを操作するための操作キーを表示します。	VIDEO CD 2.0	G-143
タイトルメニュー	ディスクに収められている各タイトルのメニューが表示されます。	DVD-VIDEO	G-144
タイトル選択	タイトルを選ぶことができます。	DVD-VIDEO DVD-VR	G-144
10キーダイレクト入力	見たいグループ/トラック、タイトル/チャプターを指定して再生することができます。(※DivXの場合は、フォルダ/ファイルを指定します。)	VIDEO CD 2.0のみ非表示	G-145
アングル	カメラアングルが複数収録されているディスクの場合に別のカメラアングルに切り替えることができます。	DVD-VIDEO DVD-AUDIO	G-146

項目名	内　容	ディスクの種類	説明ページ
アングルマーク	全画面で映像表示中にアングル操作が可能になったことを知らせるアイコンが表示されます。表示のON/OFFを選ぶことができます。	DVD-VIDEO DVD-AUDIO	G-147
メニュースキップ	DVDメニュー（ソフト固有のメニュー）を自動選択することで、選択操作をしなくても本編を再生するように設定できます。（自動再生までには6～7秒ほどかかります）	DVD-VIDEO DVD-AUDIO	G-147
CMスキップ	CMスキップの秒数を設定できます。	DVD-VIDEO	G-148
ダイナミックレンジコントロール	ダイナミック・レンジ・コントロール機能（DRC）のON/OFFを設定できます。	DVD-VIDEO DVD-AUDIO DVD-VR	G-148
ソフトメニュー言語	DVDメニューのトップメニューを表示する言語を切り替えることができます。	DVD-VIDEO DVD-AUDIO	G-149
画質調整	明るさ、コントラストなどの画質調整ができます。	すべてのディスク	G-149
音声	DVDディスクに収録されている音声を切り替えることができます。	すべてのディスク	G-150
字幕	DVDディスクに収録されている字幕の言語を切り替えることができます。	VIDEO CD1.1／2.0非表示	G-150
画面設定	ノーマル、ワイド、シネマ、フルから選びます。	すべてのディスク	G-151
プレイモード切替	プレイモードを切り替えます。	VIDEO CD 2.0のみ非表示	G-151
グループ選択	グループを選ぶことができます。	DVD-AUDIO	G-144
タイトルリスト	タイトルリストを表示します。	DVD-VR	G-145
セレクトNo	VIDEO-CD 2.0のメニュー（セレクション）を指定して再生することができます。	VIDEO-CD 2.0	G-146
PG/PLモード切替	DVD-VRの優先再生モードの設定を切り替える機能です。 ※PG/PL（プログラム/プレイリスト）	DVD-VR	G-152

■操作キー呼出

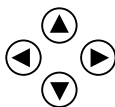
VIDEO CD2.0のみの機能です。

①

DVD ▸ 設定
戻る
操作キー呼出
タイトルメニュー
タイトル選択
10キーダイレクト入力
アングル
アングルマーク
ON

操作キー呼出 にタッチする。

画面に操作キーが表示されます。

☆ 以下の操作をすることができます。

▲▼◀▶ ：上下左右のボタンに移ります。

決定 ：選択したメニューを決定します。

移動 ：操作キーの位置を変えます。

戻る ：前のメニュー画面に戻ります。

◀⇕▶消す ：操作キーを非表示にします。

知識

再生するディスクによっては、操作できない場合があります。

■タイトルメニュー

DVD-VIDEOのみの機能です。

1

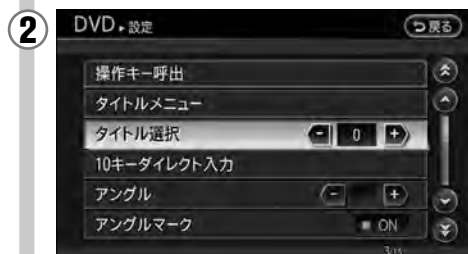
タイトルメニュー にタッチする。

ディスクに収められている各タイトルのメニューが表示されます。詳細については、各ソフトをご覧ください。

■タイトル選択

DVD-VIDEO、DVD-VRのみの機能です。

1 **タイトル選択** にタッチする。

2

－ か **＋** にタッチして、タイトル番号を選ぶ。

■グループ選択

DVD-AUDIOのみの機能です。

1 **グループ選択** にタッチする。

2

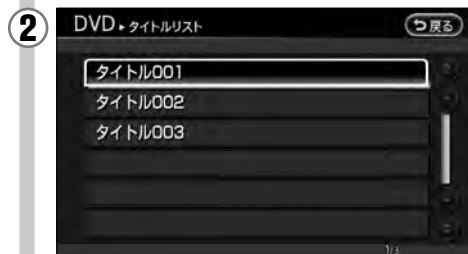
－ か **＋** にタッチして、グループ番号を選ぶ。

■タイトルリスト

DVD-VRのみの機能です。

1 タイトルリスト にタッチする。

2 タイトルリストを選ぶ。

DVD▸タイトルリスト 戻る
タイトル001
タイトル002
タイトル003

■10キーダイレクト入力

※DivXと操作は共通です。一部画面が異なります。

1 10キーダイレクト入力 にタッチする。

2 数字を入力して、決定にタッチする。

DVD▸10キーダイレクト入力 戻る
TITLE CHAPTER
1 2 3 修正
4 5 6 ◄
7 8 9 ►
0 決定

DVD-VIDEO DVD-VR	タイトルとチャプターを指定して再生することができます。
DVD-AUDIO	グループとトラックを指定して再生することができます。
VIDEO-CD1.1	トラックを指定して再生することができます。
DivX	フォルダとファイルを指定して再生することができます。

■セレクトNo

VIDEO-CD2.0のみの機能です。

1 セレクトNo にタッチする。

2

番号を入力して、決定にタッチする。

■アングル

DVD-VIDEO、DVD-AUDIOのみの機能です。

1 アングル にタッチする。

2

－ または ＋ にタッチしてアングル番号を選ぶ。

■アングルマーク

アングルの切り替えが可能なときに、マークを表示させて知らせます。

DVD-VIDEO、DVD-AUDIOのみの機能です。

① **アングルマーク** にタッチする。

②

● ON にタッチして、点灯させる。

アングル切り替えが可能のときはマークが表示されます。

■メニュースキップ

通常は、DVDメニュー（ソフト固有のメニュー）から、「本編再生」を選択しますが、設定により選択しなくても本編を再生するように設定できます。（自動的に本編が再生されるまでは、6～7秒ほどかかります）

DVD-VIDEO、DVD-AUDIOのみの機能です。

① **メニュースキップ** にタッチする。

● ON（点灯）	本編が自動再生します。
● ON（消灯）	DVDメニューの「本編再生」を選択するまで、再生しません。

■CMスキップ

DVD-VIDEOのみの機能です。

1 CMスキップ にタッチする。

2 − または ＋ にタッチしてスキップする秒数を選ぶ。

15秒、30秒、60秒から選びます。

■ダイナミック・レンジ・コントロール

※DivXと操作は共通です。一部画面が異なります。

ドルビーデジタル方式のディスクのみの機能です。

1 ダイナミックレンジコントロール にタッチする。

2

設定値を選ぶ。

OFF	機能OFF
1	効果小
2	効果大

知識

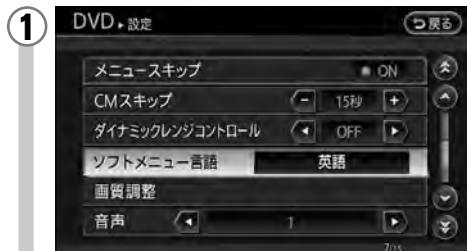
ダイナミック・レンジ・コントロール(DRC)とは、音声の強弱の幅(ダイナミックレンジ)を調整する機能のことです。

■ソフトメニュー言語

DVDソフトのトップメニューを表示する言語を切り替えることができます。
※「ソフトメニュー言語」の設定は、再生を停止した状態でないと行うことができません。DVD操作画面を表示させ、[■停止]スイッチで再生を停止させてから設定してください。

DVDディスクを再生する.........G-135

DVD-VIDEO、DVD-AUDIOのみの機能です。

1

[ソフトメニュー言語]にタッチする。

2 切り替えたい言語の番号を選ぶ。

■画質調整

※DivXと操作は共通です。一部画面が異なります。
明るさ、コントラストなど、画質の調整ができます。

1 [画質調整]にタッチする。

2

調整したい項目を選ぶ。

画面消し	画面表示のON/OFFを切り替えます。
明るさ	画面の明るさを調整します。
色合い	画面の色合いを調整します。
色の濃さ	画面の濃さを調整します。
コントラスト	画面のコントラストを調整します。
黒レベル	画面の黒レベルを調整します。

■音声

※DivXと操作は共通です。一部画面が異なります。
音声の言語を切り替えることができます。

1 [音声]にタッチする。

2

[◀]または[▶]にタッチして、音声を切り替える。

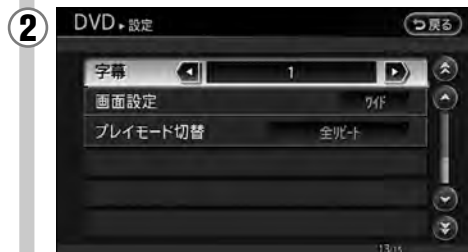
切り替えることのできる言語はソフトにより異なります。

■字幕

※DivXと操作は共通です。一部画面が異なります。
字幕を切り替えることができます。

VIDEO-CD 1.1/2.0のみ非表示です。

1 [字幕]にタッチする。

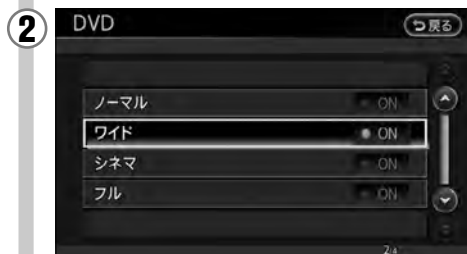
2

字幕を切り替える。

切り替えることのできる字幕はソフトにより異なります。

■画面設定

※DivXと操作は共通です。一部画面が異なります。

① 画面設定 にタッチする。

②

画面サイズを選ぶ。

ノーマル、ワイド、シネマ、フルから選びます。

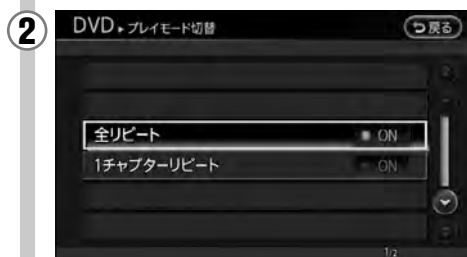
画面の縦横比について(アスペクト比)
.................................G-126

■プレイモードを切り替える

※DivXと操作は共通です。一部画面が異なります。

VIDEO-CD 2.0のみ非表示です。

① プレイモード切替 にタッチする。

②

プレイモードを選ぶ。

☆ 以下のプレイモードに設定できます。

DVD-VIDEOとDVD-VRの場合	
全リピート	全曲を繰り返し再生します。
1チャプターリピート	1チャプターを繰り返し再生します。
DVD-AUDIOの場合	
全リピート	全曲を繰り返し再生します。
1トラックリピート	1トラックを繰り返し再生します。
1グループリピート	1グループを繰り返し再生します。
1グループランダム	1グループをランダムに順番を変えて再生します。

VIDEO-CD1.1 の場合	
全リピート	全曲を繰り返し再生します。
1 トラックリピート	1 トラックを繰り返し再生します。
1 ディスクリピート	1 枚のディスクを繰り返し再生します。

再生するディスクにより、設定できる項目が異なります。

■PG/PLモード切替

DVD-VRのみの機能です。

1. **PG/PLモード切替** にタッチする。

2.

◀ または ▶ にタッチしてモードを切り替える。